

東京都庭園美術館
年報

2022

TOKYO METROPOLITAN TEIEN ART MUSEUM
Annual Report

ごあいさつ

令和4年度も引き続きコロナ禍の制約の中で、展覧会をはじめ各種事業を展開する一年となりました。

事前予約やご入館に際しての検温・手指消毒など、ご来館のみなさまにもご理解とご協力を賜りつつ、「建物公開2022 アール・デコの貴重書」「蜷川実花 瞬く光の庭」「旅と想像／創造 いつかあなたの旅になる」「交歓するモダン機能と装飾のポリフォニー」と、各回ごとに当館の環境特性を活かした計4本の展覧会とともに、「障害のある方対象アート・コミュニケータとめぐる庭園美術館」や「ベビーといっしょにミュージアムツアー」の実施、さらには各種スクールプログラムの充実にも努めて参りました。

また、7月に妹島和世新館長が就任したことを機に、新たに美術館講座を開講し、当館内外の講師による多彩なレクチャーをお楽しみいただきました。

さらには、旧門衛所のスペースを活用した、妹島新館長による「ランドスケープ」をテーマとした小展示や、緑あふれる庭園を会場としたガーデンコンサート、本館(旧朝香宮邸)とともに重要文化財に指定されている庭園の歴史や特色をご紹介するガーデンツアーなど、より豊かな鑑賞体験をご提供する関連事業にも意欲的に取り組みました。

ここに令和4年度の成果をまとめた年報を上梓しましたことをご報告させていただくとともに、本年報を通してより多くのみなさまに当館の活動をご理解いただく一助としつつ、さらなる充実へと繋げる端緒となるよう励んで参ります。

令和5(2023)年4月
東京都庭園美術館

目次

| | |
|----------------|---|
| 基本方針 | 1 |
| 令和4年度の東京都庭園美術館 | 2 |

各事業報告

| | |
|-----------------------------|----|
| 1. 建物・庭園公開事業 | 5 |
| 2. 企画展示事業 | 22 |
| 3. 紀要の発行 | 40 |
| 4. 普及事業 | 41 |
| 5. クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー事業 | 44 |
| 6. 旧朝香宮邸資料公開室の運営 | 47 |
| 7. 学校連携事業 | 48 |
| 8. 東京都庭園美術館コンサート | 50 |
| 9. 美術品の収集 | 51 |
| 10. 広報事業 | 52 |
| 11. 美術館維持管理 | 55 |
| 12. 収益事業 | 57 |

令和4年度の実績

| | |
|------------|----|
| 1. 入館者数 | 62 |
| 2. 広報・宣伝 | 62 |
| 3. 収益事業収入 | 62 |
| 4. 展覧会関連事業 | 63 |

その他

| | |
|------------|----|
| 1. 組織図 | 64 |
| 2. 展覧会実績一覧 | 65 |
| 3. 施設配置図 | 71 |

基本方針

1. 歴史的建造物である本館の保存とその公開

2. 装飾芸術に基づく新たな価値を今日の社会に活かす展覧会・各種事業の実施

3. 「歴史的建造物」、「装飾芸術」、「庭園」を三本柱とする文化的都市空間の形成

4. あらゆる鑑賞者に開かれた美術館の実現

東京都庭園美術館は、本館が昭和8年(1933)に建築されたアール・デコ様式の歴史的建造物であることから、昭和58(1983)年の設立以来、その「保存」と「活用」を運営方針としてきました。

保存の面では、開館を期に本館の修復作業に着手し、また毎年、アール・デコ様式の調査研究を兼ねた「建物公開展」を開催してきました。その成果のひとつとして、本館は平成27年(2015)に、国の重要文化財「旧朝香宮邸」に指定されています。

活用の面では、アール・デコという言葉が、「装飾芸術」(建築、デザイン、工芸、家具、美術等に表れる装飾性)を意味するフランス語に由来することから、これまで国内外の美術作品を、主として装飾芸術の観点から取り上げる展覧会を企画してきました。

平成26(2014)年の新館改築を機に、館の運営方針には、「新たな価値の創造」が加えられました。これによって庭園美術館の展覧会事業には、今日の視点で装飾芸術を創造する芸術家の作品を展示することが加わりました。

このほかに東京の文化の魅力の創造と発信に寄与するために、装飾芸術の価値を今日の社会に活かすという視点から、庭園の活用事業をはじめとして、さまざまな教育普及事業にも取り組んでいきます。

以上の経緯により、庭園美術館は、重要文化財である「旧朝香宮邸」の保存と公開を基盤に、装飾芸術の力によって、東京という都市のこれからの課題である多文化共生、環境問題などに対応し、すべての都民の心を豊かにする場となることを目指していきます。

令和4年度の東京都庭園美術館

- 令和4年 「奇想のモード 装うことへの狂気、またはシュルレアリスム」展を前年度から引き続いて開催
- 4月 1日 春の夜間開館(4月2日も同様)
- 10日 「奇想のモード 装うことへの狂気、またはシュルレアリスム」展閉幕
- 16日 茶室 春の特別公開(5月8日まで)
- 23日 「建物公開2022 アール・デコの貴重書」展開幕
- 26日 ティーチャーズウィークを7月8日まで実施
- 27日 外部評価委員会を開催
- 29日 「春の呈茶」開催
- 5月 4日 天井補修のため茶室一般公開休止(6月24日まで)
- 21日 茶室ワークショップ「重文わかる茶会」開催
- 23日 「ベビーといっしょにミュージアムツアー」開催
- 29日 「東京都庭園美術館ガーデンコンサート2022」開催
- 6月 6日 「障害のある方対象 アート・コミュニケーターとめぐる庭園美術館」開催
- 12日 「建物公開2022 アール・デコの貴重書」展閉幕
- 25日 「蜷川実花 瞬く光の庭」展開幕
茶室ワークショップ「はじめてのお茶会 作法にこめられた心」開催
- 28日 ティーチャーズウィークを7月6日まで実施
- 7月 1日 妹島和世館長就任
インフルエンサー向け内覧会(蜷川実花展)を開催(7月1日、7日、13日、20日)
- 8日 スクールプログラム 開館日コース(東京都立足立特別支援学校(オンライン授業)・宮城県立仙台第一高等学校)実施
- 12日 暑さ対策として正門付近1か所、アプローチ3か所及び本館前1か所の計5か所にミストを設置(9月24日まで)
- 25日 「障害のある方対象 アート・コミュニケーターとめぐる庭園美術館」開催
- 26日 茶室 夏の特別公開(8月21日まで)
- 30日 夏の特別茶会「ガラスの清寂」開催
- 8月 11日 ワークショップ「光であそぶ、色をとる」開催
- 22日 「ベビーデー 赤ちゃんと暮らす家族のための特別開館日」開催
- 9月 4日 「蜷川実花 瞬く光の庭」展閉幕
- 23日 「旅と想像／創造 いつかあなたの旅になる」展開幕
- 27日 ティーチャーズウィークを10月5日まで実施
- 28日 スクールプログラム 開館日コース(東洋女子高等学校)実施
- 29日 レクチャー(東京都立大学)開催
- 10月 1日 「都民の日」庭園無料公開
トークイベント「近代茶室『光華』の魅力-数寄屋大工の眼、建築史家の眼」開催
- 14日 第1回美術館講座「旧朝香宮邸から建築を語る」開催
- 15日 茶室ワークショップ「こども茶会-おもいやりの心」開催
- 19日 第1回ガーデンツアー開催



- 10月 23日 日本庭園の池清掃を実施(27日まで)
 24日 「障害のある方対象 アート・コミュニケーターとめぐる庭園美術館」開催
 28日 正門横スペース テーマ展示「ランドスケープをつくる」開催(2023年1月29日まで)
 スクールプログラム 開館日コース(東京都立足立特別支援学校(オンライン授業))実施
 29日 「秋の呈茶2022」開催
- 11月 1日 スクールプログラム 休館日コース事前出張授業(港区立筭小学校)実施
 2日 スクールプログラム 出張授業(北区立西ヶ原小学校①)実施
 5日 アートウィーク東京プライベートビューイング開催
 7日 スクールプログラム 休館日コース(港区立筭小学校)実施
 13日 光華倶楽部(茶会)実施
 15日 レクチャー(東洋大学、花耀会)実施
 16日 光華倶楽部(大使館訪問)実施
 第2回ガーデンツアー開催
 秋(紅葉)の夜間開館を26日まで実施(19日、25日、26日、12月2日、3日)
 19日 茶室ワークショップ「重文わかる茶会」開催
 21日 「ベビーといっしょにミュージアムツアー」開催
 22日 茶室秋の特別公開(12月11日まで)
 27日 「旅と想像／創造 いつかあなたの旅になる」展閉幕
 30日 スクールプログラム 出張授業(北区立西ヶ原小学校②)実施
- 12月 10日 冬の特別茶会「光と影の清寂」開催
 17日 「交歓するモダン 機能と装飾のポリフォニー」展閉幕
 18日 レクチャー(武蔵野美術大学)実施

令和5年

- 1月 5日 ティーチャーズウィークを1月13日まで実施
 12日 スクールプログラム 開館日コース
 (一般財団法人日本国際協力センター フィリピンの高校生)実施
 21日 第1回美術館講座スピノフ企画「菊竹清訓氏を語る」開催
 26日 東京都庭園美術館美術資料収蔵委員会を開催
 27日 第2回美術館講座「アール・デコと装飾の魅力」開催
 30日 「ベビーといっしょにミュージアムツアー」開催
- 2月 1日 指定管理委託に係るモニタリング調査
 12日 やさしい日本語で美術館を楽しむプログラム「わたしの椅子をつくろう!」①開催
 17日 第3回美術館講座「朝香宮家のアール・デコ」開催
 20日 委託事業者、レストラン、ショップ参加による自衛消防訓練を実施
 23日 ワークショップ「ボショワールで彩る旧朝香宮邸」開催
 25日 やさしい日本語で美術館を楽しむプログラム「わたしの椅子をつくろう!」②開催
 27日 「障害のある方対象 アート・コミュニケーターとめぐる庭園美術館」開催
- 3月 5日 「交歓するモダン 機能と装飾のポリフォニー」展閉幕
 17・18日 第1～4回「旧朝香宮邸 東京都庭園美術館コンサート2022」開催



- 3月 18日 「ウェルカムユース」(18歳以下の方が都立美術館・博物館の入場料が無料となる事業)
を4月2日まで実施
- 24・25・31日 春(桜)の夜間開館を実施

各事業報告

1. 建物・庭園公開事業

建物公開 2022 アール・デコの貴重書

Looking at Architecture 2022: Encounters with Art Deco Books

会 期:2022年4月23日(土)~6月12日(日)[44日間]

主 催:東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館

年間協賛:戸田建設株式会社、ブルームバーグ L.P.、Van Cleef & Arpels

担 当:大木香奈、吉田奈緒子

観 覧 料:一般1,000円/大学生(専修・各種専門学校含む)800円/

中学生・高校生500円/65歳以上500円

出品点数:121点

広報印刷物:ポスター(B1、B2)チラシ(A4、8種制作)

デザイン:中野デザイン事務所

来館者数:32,297人(1日平均734人)



概要

1933年に竣工した旧朝香宮邸(現・東京都庭園美術館本館)の魅力を紹介する、年に一度の建物公開展として実施した。当館の所蔵品を中心に1920~30年代の貴重書75点に焦点を当て、本館では貴重書とアール・デコ建築とのコラボレーションを、新館では写真プレートや絵葉書等を解説と共に一挙に展示して、装飾性豊かなアール・デコの世界観を体感していただく機会とした。建物公開展では恒例となる家具や調度を用いた情景再現においても、本棚や文具等を展示することで本展のテーマを表現することに努め、本館の書庫では造作物を使い書架スペースの再現を行った。その上で、旧朝香宮邸の建築や室内意匠に関する解説をパネル等で説明し、建物自体を純粋に堪能できるよう企画した。

ハンドアウト

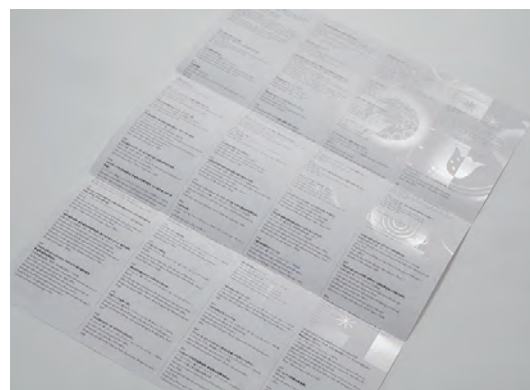
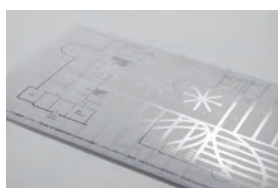
タイトル:「建物公開 2022 アール・デコの貴重書」ハンドアウト

版型・ページ数:両面 A3 三つ折り

執筆・編集:大木香奈、吉田奈緒子

デザイン:中野デザイン事務所

印刷:山田写真製版所



写真提供:中野デザイン事務所



ギャラリートーク(動画配信)



タイトル：「建物公開 2022 アール・デコの貴重書」オンライン・ギャラリートーク

上映時間：9分53秒

内容：担当学芸委員による展覧会展示解説、展示紹介

出演：大木香奈、吉田奈緒子

撮影・制作：大倉英揮（黒目写真館）

URL：<https://www.youtube.com/watch?v=RG4RQ5EFuFM&t=24s>

公開期間：2022年5月19日～当面の間

3D オンラインビューイング

内容：展覧会会場の3VDR空間及び作家解説、作品解説、キャプションを掲載

撮影・制作：合同会社ワンダーストック

URL：<https://my.matterport.com/show/?m=hk2ELCRmdvD>

公開期間：2022年7月19日～当面の間



会場風景



撮影：Yosuke Owashi



関連事業

ガーデンコンサート

展覧会「建物公開 2022 アール・デコの貴重書」展の関連事業として、庭園の賑わい事業であるガーデンコンサートを実施。昨年度同様東京芸術劇場の新進音楽家育成機関である芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインドウのメンバーによる演奏を披露した。演奏はオーボエ、クラリネット、サクソフォーンの木管三重奏で展覧会に合わせて演奏曲目を選定し、その時代等について雰囲気味わっていただくため庭園においてコンサートを開催した。美術館入館者の動員数を上げるとともに来館者サービスの向上を図った。

日時：2022年5月29日(日)14:00～14:45

会場：東京都庭園美術館芝庭

主催者：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館、東京芸術劇場

料金：無料（但し、展覧会または庭園のチケットが必要）

広報制作：東京芸術劇場

参加者数：430人





旧朝香宮邸資料修復・復原

購入および寄贈を受け、当館内で保管されていた朝香宮家旧蔵家具資料、当館が所蔵する1920-30年代のアー・デコ期の家具計3点の状態調査および修復・補修作業を実施した。

劣化・腐朽部分の修復、欠損部分の製作、クリーニング、塗装、細かな調整等、慎重に調査を行った上で、オリジナル部分を最大限に残して活かしながら耐久性を担保するような方向性で作業を実施した。

修復を行ったテーブル、ワードローブは、2022年度に開催した「蜷川実花 瞬く光の庭」展、「旅と想像／創造 いつかあなたの旅になる」展にてそれぞれ展示された。今後も建物公開展をはじめ活用予定である。





正門横スペース(旧門衛所)の特別展示及びテーマ展示

正門横スペースにおいて、世界各国からギャラリストや美術関係者が訪れるアートウィーク東京の開催に合わせ、新館長の構想の一端を示しながら、当館の存在を関係者に広くアピールするため、館の紹介等の特別展示とテーマ展示を行った。

特別展示



朝香宮邸竣工時の建物及び室内の写真や設計図面、新館改修後の建築模型など旧朝香宮邸を紹介する特別展示及び館長就任メッセージボードを掲示した。

会期:2022年10月28日(金)~2023年1月29日(日)[69日間]

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館

会場:東京都庭園美術館 正門横スペース(旧門衛所)

観覧料:無料

入場者数:3,929人(1日平均56人)

テーマ展示「ランドスケープをつくる」第1回



ランドスケープは、建築や家具、庭、歴史、環境など分野を超えた様々なものから構成され、箱型建築の限界を超えて環境と人工の調和を説くものである。新たな庭園美術館像を構想していくために必要とされる建築と庭園の一体性と調和性を実現していくには欠かせない視点を提供する。今回のテーマ展示は、この『ランドスケープをつくる』ことを意識した人物、作品の展示を企画した。



第1回は、石上純也建築設計事務所が進めている「徳島文化芸術ホール(仮称)」の紹介を行った。この建築は、いわゆる箱物ではなく、ランドスケープをつくることを意識して設計され、建築全体が立体公園として成立している。プロポーザル時の、敷地を含む全体模型(1/300)や、断面模型(1/100)、映像、図面等を展示した。

会期:2022年10月28日(金)～2022年12月4日(日)[32日間]

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館

会場:東京都庭園美術館 正門横スペース(旧門衛所)

観覧料:無料

入場者数:1,642人(1日平均51人)

テーマ展示「ランドスケープをつくる」第2回「スカイハウス再読」



テーマ展示の第2回では、横浜国立大学大学院 Y-GSA の学生による「スカイハウスの研究」に関する展示を行った。1958年に竣工したスカイハウスは、建築家・菊竹清訓によって設計された、戦後日本を代表する住宅建築である。今回は、1/10の模型を展示するとともに、氏の原風景や伝統的な日本建築からの影響、構造やモジュールといった建築要素等に注目した。

会期:2022年12月10日(土)～2023年1月29日(日)[37日間]

※休館期間:2022年12月28日(水)～2023年1月4日(水)

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館

会場:東京都庭園美術館 正門横スペース(旧門衛所)

観覧料:無料

来館者数:2,287人(1日平均62人)

関連プログラム

テーマ展示「ランドスケープをつくる」第2回「スカイハウス再読」関連座談会「菊竹清訓氏を語る」

日時:2023年1月21日(土)

場所:東京都庭園美術館 新館ギャラリー2

※本プログラムは「東京都庭園美術館 美術館講座 2022」第1回スピノフ企画として開催(詳細はP.41参照)



庭園公開事業

植栽の管理に力を入れ、丁寧に庭園を視察し健全な状態を維持した。芝庭のアカマツの枝が折損するという事故が生じたが、その後適切な対応により、庭園の剪定と樹木診断を実施し安全を確保した。今年度も「庭園パスポート」を販売し、芝庭、日本庭園、西洋庭園それぞれ趣の異なる庭園と茶室を楽しんでいただいた。

庭園公開日数：306日

庭園のみ入場者数：64,104人

庭園パスポート

販売数：400枚

入園者数：5,385人(同伴者1,593人を含む。同伴者1人まで無料)





ガーデンツアー

当館では初めての試みとして、ガーデンツアーを2回実施した。

東京都庭園美術館の庭園にまつわる色々な話を聞きながら、ツアーガイドと一緒に散策する。朝香宮夫妻が住んでいた頃の話やそれ以前の歴史にも触れながら、庭園を案内した。

日時:①2022年10月19日(水)14時～(45分間程度)

②2022年11月16日(水)14時～(45分間程度)

場所:東京都庭園美術館 庭園

ツアーガイド:牟田行秀(東京都庭園美術館副館長)

定員:各回10組20名

参加者数:①13人 ②22名

参加費:無料(入館料別途)

申込方法:館ウェブサイトの申し込みフォームにて事前申込制(申込者が定員を超過した場合は抽選)





茶室活用

庭園公開事業の一環として、日本庭園内の茶室「光華」(重要文化財)の活用を行い、茶室建築及び茶の湯文化の普及に資した。

茶会等事業

茶室ワークショップ「重文わかる茶会」

お茶そのものにもっと親しみを持ってもらうために、実技や解説を交えたワークショップ「重文わかる茶会」を実施した。内容は、茶会に関する基礎知識を立礼席で説明したのち、露地の蹲(つくばい)の使い方の実技、広間にてお菓子の食べ方の実技を行った。最後に小間で講師から薄茶とお菓子が振舞われた。茶会の趣向が、その時々季節感、年中行事、時事の話題などを元に、亭主が道具や設えにさまざまな工夫を凝らしたものであることを理解してもらった。

第1回

日時: 2022年5月21日(土)

第1席10:30~11:30 第2席11:45~12:45 第3席13:30~14:30 第4席14:45~15:45 第5席16:00~17:00

場所: 茶室「光華」立礼席、広間、小間

講師: 沼尻宗真(茶道家・陶芸家)、海老澤宗香(茶道家) どちらも裏千家

定員: 各回定員8名×5回(応募多数は抽選)

参加者: 一般公募30人(5席)

参加費: 1,000円(入館料別途)

申込方法: 館ウェブサイトの申し込みフォームにて事前申込制

第2回

日時: 2022年11月19日(土)

第1席10:30~11:30 第2席11:45~12:45 第3席13:30~14:30 第4席14:45~15:45 第5席16:00~17:00

場所: 茶室「光華」立礼席、広間、小間

講師: 沼尻宗真(茶道家・陶芸家)、海老澤宗香(茶道家) どちらも裏千家

定員: 各回定員8名×5回(応募多数は抽選)

参加者: 一般公募44人(5席)

参加費: 1,000円(入館料別途)

申込方法: 館ウェブサイトの申し込みフォームにて事前申込制





茶室ワークショップ「はじめてのお茶会 作法にこめられた心」

お茶会は作法がわからず敷居が高い、と遠慮されがちである。そこで子どもや全くの初心者の方でも参加できるよう、作法を一つ一つ丁寧に説明しながら、そこにこめられた意味も学ぶことによってお茶会を身近に感じてもらい、同時にそれを行うための茶室にも興味をもっていただくことを目的に実施した。

日時：2022年6月25日（土）

- 第1席 10:30～ 小学3年～6年生とその保護者
- 第2席 13:00～ 一般初心者
- 第3席 14:30～ 小学3年～6年生とその保護者
- 第4席 16:00～ 一般初心者

場所：茶室「光華」

講師：目黒とうりあん茶道教室 船越宗英、河田宗愛、どちらも裏千家

定員：各回定員10名×4回（応募多数は抽選）

参加者：44人（定員40名）

参加費：親子1組 1,000円 一般1名 700円（入館料別途）

申込方法：館ウェブサイトの申し込みフォームにて事前申込制



茶室ワークショップ「こども茶会—おもいやりの心」

昨年度に続き実施した。対象は小学4年生～6年生とその保護者。2時間のプログラムで、前半は子どもと保護者は別々になり、子どもたちには模擬茶会を通して、茶会のこと、道具の名前や使い方、お菓子の食べ方、抹茶の飲み方のレクチャーを受けた後、茶筌で抹茶を点てるという実技を行った。その間、保護者には別室で茶会や茶室に関するレクチャーを行った。その後、子どもたちと合流し、子どもが掛軸や花、道具のこと、お菓子の食べ方を保護者に説明し、抹茶を点て、飲み方を伝えて保護者に振舞う内容とした。

日時：2022年10月15日（土）

- 午前の部 10:30～12:30
- 午後の部 13:00～15:00

場所：茶室「光華」

講師：目黒とうりあん茶道教室 船越宗英、河田宗愛、どちらも裏千家

定員：各回定員5組（応募多数は抽選）

参加者：一般公募 午前・午後とも6組12人、計12組24人

参加費：1組2,000円（入館料別途）

申込方法：館ウェブサイトの申し込みフォームにて事前申込制



トークイベント「近代茶室『光華』の魅力—数寄屋大工の眼、建築史家の眼」

昨年度に続き、建築史家と数寄屋建築のプロの眼と担当学芸員も加わって、茶室「光華」の建築的な魅力を掘り起こそうという趣旨で企画した。本館スタジオで数寄屋建築や「光華」の歴史について事前説明をしたあと、現場に移動して解説や質疑応答を行った。

日時：2022年10月1日（土）

①10:30～12:00 ②13:30～15:00

場所：茶室「光華」

講師：小沢朝江（東海大学建築都市学部建築学科教授）

芹澤毅（せりざわたけし工務店、数寄屋大工棟梁）

定員：各回定員10名×2回（応募多数は抽選）

参加者：一般公募 ①7人 ②8人 計15人

参加費：無料（入館料別途）

申込方法：館ウェブサイトの申し込みフォームにて事前申込制



呈茶会

平成30年度以来、地元港区華道茶道連盟を亭主とし、「春の呈茶」「秋の呈茶」を実施している。主菓子と抹茶を提供するオーソドックスな茶会だが、「春の呈茶」では、日ごろ使用することのない立礼卓によるお点前も披露した。また呈茶のあとは、参加者を小間に案内し、学芸員による「光華」の解説を行った。



① 春の呈茶

日時：2022年4月29日（金・祝）

広間 第1席10:30～ 第2席11:30～ 第3席12:30～ 第4席13:30～

立礼席 第1席10:40～ 第2席11:40～ 第3席12:40～ 第4席13:40～

場所：茶室「光華」広間、立礼席

亭主：港区華道茶道連盟 石川宗鶴（裏千家）

定員：広間各回10名×4回、立礼席各回定員4名×4回（応募多数は抽選）

参加者：一般公募 広間48人（定員40名）、立礼席21人（定員16名）、計69人

参加費：600円（広間、立礼席とも）

申込方法：館ウェブサイトの申し込みフォームにて事前申込制

② 秋の呈茶

日時：2022年10月29日（土）

第1席10:30～ 第2席11:30～ 第3席13:00～ 第4席14:00～ 第5席15:00～

場所：茶室「光華」広間

亭主：港区華道茶道連盟 三上宗庸（細川三斎流）

定員：各回定員10名×5回（応募多数は抽選）

参加者：一般公募 広間52人（定員50名）

参加費：600円

申込方法：館ウェブサイトの申し込みフォームにて事前申込制



特別茶会

エアコンのない茶室は夏と冬環境が厳しく、行事は春と秋に行うことが通例であるが、季節感を強く感じる事がむしろ難しい都心にあって、その風情を十分に感じていただくため、夏と冬に特別茶会を行った。

① 夏の特別茶会「ガラスの清寂」

昨年度実施し、たいへん好評であった夏の特別茶会「ガラスの清寂」を今年度も実施。ガラス作家青木美歌氏制作の茶器、花入れ、水指のほか茶碗、茶杓、建水、蓋置、香合、菓子皿もすべてガラス製とした。またルネ・ラリックのサラダボウルを茶碗に見立てて使用した。菓子は、特注の錦玉仕立てとした。広間の軒にはすだれ、ガラスの風鈴を掛けるなど、涼感と日本の夏の風情を味わえる室礼とし、抹茶は冷茶仕立てとした。



日時: 2022年7月30日(土)

第1席10:30～ 第2席11:30～ 第3席13:30～ 第4席14:30～ 第5席15:30～

場所: 茶室「光華」広間

亭主: 沼尻宗真(茶道家・陶芸家)、海老澤宗香(茶道家) どちらも裏千家

定員: 各回定員10名×5回(応募多数は抽選)

参加者: 一般公募 53人

参加費: 700円



② 冬の特別茶会「光と影の清寂」

昨年度制作した茶室「光華」の紹介動画の世界観を趣向とした。初めに立礼席でその動画を視聴したあと広間で主菓子を、その後露地を通して小間の蹲で清めて躡り口から席入りし、抹茶を提供した。雪と、掛軸「無事」のイメージから、茶道具は白で統一した。

日時: 2022年12月10日(土)

第1席10:30～ 第2席12:30～ 第3席14:00～ 第4席15:30～

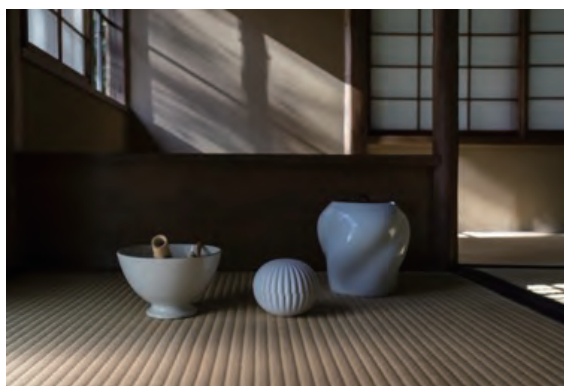
場所: 茶室「光華」広間

亭主: 沼尻宗真(茶道家・陶芸家)、海老澤宗香(茶道家) どちらも裏千家

定員: 各回定員8名×4回(応募多数は抽選)

参加者: 一般公募 33名

参加費: 1,000円





一般公開、特別公開

一般公開

文化財建築の普及のため、通常開館日は立礼席まで立入りできるよう一般公開している。その中で広間には茶席の道具を配し、茶室の雰囲気味わってもらえるようにしている。配する道具は掛軸、花入れ、香合、茶碗、釜、茶筌、茶入れ、水指、建水等を展示し、季節に応じて展示替えを行っている。また季節に合わせて炉と風炉を入れ替えている。

茶室入室者：48,975人(茶会、ワークショップ等参加者を除く、2023年3月31日まで)

特別公開

① 春の特別公開

日本庭園はカエデの新緑も清々しいので、広間からの「青モミジ」の景観を楽しんでいただくため、連休期間を中心に特別公開を行った。

期間：2022年4月16日(土)～5月8日(日)

時間：10:00～16:30

場所：茶室「光華」広間

入室者数：3,715人



② 夏の特別公開

夏の特別茶会の趣向である日本の夏の風情を感じていただくため、ガラスの茶道具等の室礼による特別公開を行った。

期間：2022年7月26日(火)～8月21日(日)

時間：10:00～16:30

場所：茶室「光華」広間

入室者数：4,784人





③ 秋の特別公開

茶室広間からの日本庭園の紅葉を楽しんでいただくため、恒例行事として行っている。

期間：2022年11月22日（火）～12月11日（日）

時間：10:00～16:30

場所：茶室「光華」広間

入室者数：5,502人



「光華倶楽部」(試行)

茶室「光華」のさらなる有効活用と、茶道を学ぶ若者たちの活動支援、そして国際交流の推進を目的として、「光華倶楽部」事業を立ち上げた。これは高校茶道部と各国大使館を対象とし、高校茶道部が大使館員を招いて「光華」で茶会を催し、その後大使館が高校茶道部の訪問を受け入れるという事業である。今年度はその試行として、港区国際交流協会の協力を得ながら在日ルーマニア大使館と、慶應義塾女子高等学校茶道部のマッチングによる茶会と大使館訪問を行った。

① 茶会

日時：2022年11月13日（日）14:00～16:00

場所：茶室「光華」広間

参加者 亭主：慶應義塾女子高等学校茶道部2年生 8名

客：ルーマニア大使館関係者 12名

② 大使館訪問

日時：2022年11月16日（水）16:00～17:00

場所：ルーマニア大使館

参加者：慶應義塾女子高等学校茶道部 18人

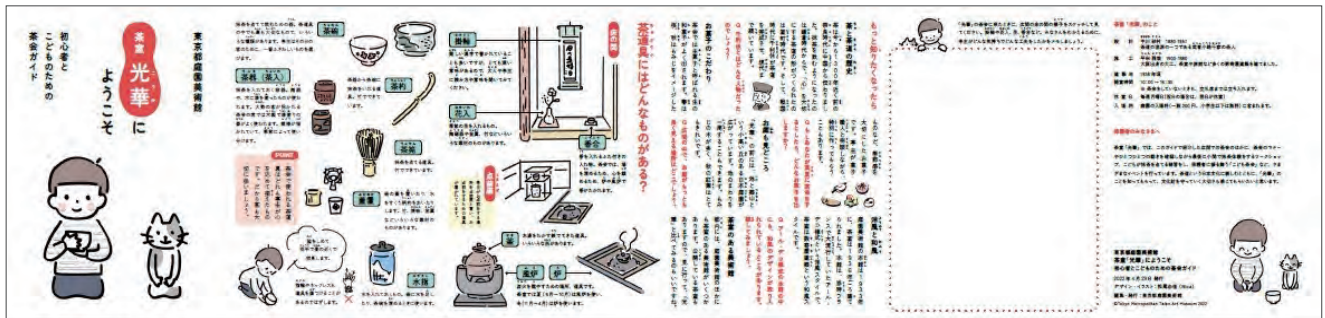
港区国際交流協会 3人





ガイドブックの作成

茶道や茶会の初心者及びこどものために、イラストや平易な言葉を用いた茶会のガイドブック「茶室光華にようこそ 初心者とこどものための茶会ガイド」を作成し、上記各茶会行事参加者や公開時の見学者に配布している。





2.企画展示事業

1.奇想のモード 装うことへの狂気、またはシュルレアリスム



MODE SURREAL: A Crazy Love for Wearing

会 期: 2022年1月15日(土)~4月10日(日)[74日間]

※令和4年度:2022年4月1日(金)~4月10日(日)[9日間]

主 催: 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館

協 力: 株式会社 七彩、株式会社 無限デザインスタジオ

年間協賛: 戸田建設株式会社、ブルームバーグL.P.

担 当: 神保京子、大木香奈

観覧料: 一般1,400円/大学生(専修・各種専門学校含む)1,120円/
中学生・高校生700円/65歳以上700円

出品点数:190点

広報印刷物:ポスター(B1、B2)チラシ(A4) デザイン:原条令子

来館者数:43,763人(一日平均591人)

- ・令和3年度 33,852人(1日平均521人)
- ・令和4年度 9,911人(1日平均1,101人)

概要

20世紀最大の芸術運動であったシュルレアリスム運動がモードに与えた影響、またモードの表現の中に散見されるシュルレアリストに共鳴しあうような感性を主軸として、両者の相関関係をさぐった。また本展ではさらに、シュルレアリストの感性に通ずるような作品群にも注目し、現代の私たちの視点からみた<奇想>をテーマに、16世紀の歴史的なファッションプレートからコンテンポラリーアートに至るまでを、幅広く展覧した。ファッション・トレンドに敏感な若者層をターゲットに広報活動を展開させた結果、会場には先鋭的な装いを凝らして鑑賞を楽しむ来館者の姿が多数見受けられた。

※詳細については、2021年度年報を参照

会場風景





2.蜷川実花「瞬く光の庭」



Mika Ninagawa: A Garden of Flickering Lights

会 期:2022年6月25日(土)～9月4日(日)[62日間]

主 催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館

企画協力:ラッキースター、小山登美夫ギャラリー

協 賛: **eiris** TOKIO **nido**
エリス インカラミ

年間協賛:戸田建設株式会社、ブルームバーグL.P.、Van Cleef & Arpels

企画・担当:田村麗恵

副 担 当:鶴三慧

観 覧 料:一般1,400円/大学生(専修・各種専門学校含む)1,120円/
中学生・高校生700円/65歳以上700円

出品点数:78点

広報印刷物:ポスター(B1、B2)、プレチラシ(A3二つ折り仕上げA4)、チ
ラシ(A3二つ折り仕上げA4)

デザイン:芝野健太

来館者数:49,432人(1日平均797人)

概要

写真家・映画監督として現代日本を代表する蜷川実花の個展として、最新作のみに絞って構成。コロナ禍の国内各地で撮影された写真を本館に、映像作品を新館ギャラリー1で展示した。順路通りに進むと、春から四季を経てまた春に戻り、季節をめぐる配列とした。本館ではカーテンを開け放ち、通常より明るい環境の下で室内装飾と窓からの庭園の眺め、そして蜷川の写真とを一体化させて、旧朝香宮邸の空間全体を作品とした。窓辺に写真を浮かべるように展示し、「光彩色」と作家が呼ぶ写真の淡く明るい色調と外光とが溶け合い、日の陰りとともに作品の見え方が変化するさまは、驚きを持って受け入れられた。こうした室内装飾と蜷川の作品との競演は、宮邸の新しい見方を提示するものとなった。新館ではギャラリー1を大胆に使用する映像インスタレーションを展開。蝶に誘われて季節をめぐる物語で、透過性のあるスクリーンとスクリーンの間に鑑賞者が進むと、その影が作品に取り込まれる仕掛けとなった。オリジナル楽曲の心地よさと映像のスペクタクルに包み込まれる空間は、蜷川の幅広い表現世界を凝縮して伝えることができ、高い満足度に繋がった。本館の一部で写真撮影を、新館では写真と映像撮影を可能としたことでInstagramを中心に情報が広く拡散され、若年層の来館が目立った。

展覧会記録集

書名:『蜷川実花「瞬く光の庭」記録集』

編集:田村麗恵、蜷川麻実(ラッキースター)、

長瀬夕子(小山登美夫ギャラリー)

デザイン:芝野健太

発行:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館

発行数:500部

発行日:2023年3月31日(金)





所収テキスト：宮田裕章「瞬く光の庭」「胡蝶のめぐる季節」
蜷川実花インタビュー（採録）
田村麗恵「瞬く光と、庭園と」

ハンドアウト

タイトル：「蜷川実花 瞬く光の庭 展覧会ガイド」
版型・ページ数：A3巻三つ折
内容：展覧会概要、本館マップ
企画・編集：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館
デザイン：芝野健太
印刷：株式会社ライブアートブックス
発行日：2022年6月25日（土）

展覧会特設サイト

内容：展覧会概要、お知らせ、展覧会の見どころ、作家紹介、作家インタビュー動画、会場風景、3Dオンラインビューイング、関連プログラム、ミュージアムショップ、グッズ・レストランの本展関連情報等
デザイン：石橋由悠(Daughter Ltd.)
サイト構築：中村耕介(ニピクセル)
担当：田村麗恵、斉藤音夢
公開期間：2022年5月25日（水）～2023年9月30日（金）（予定）

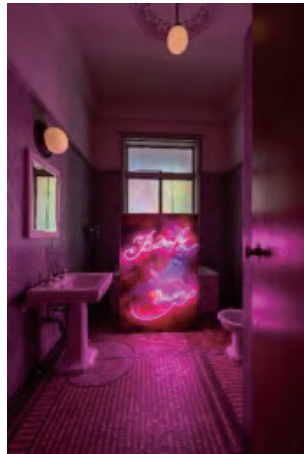
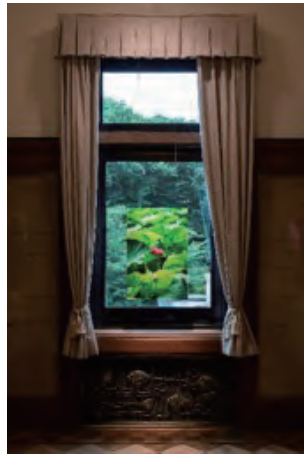
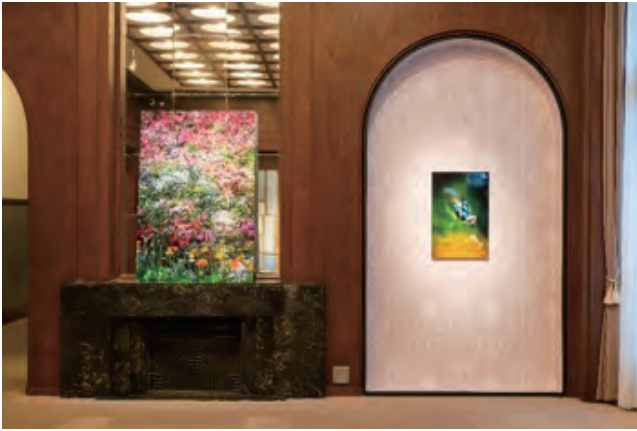


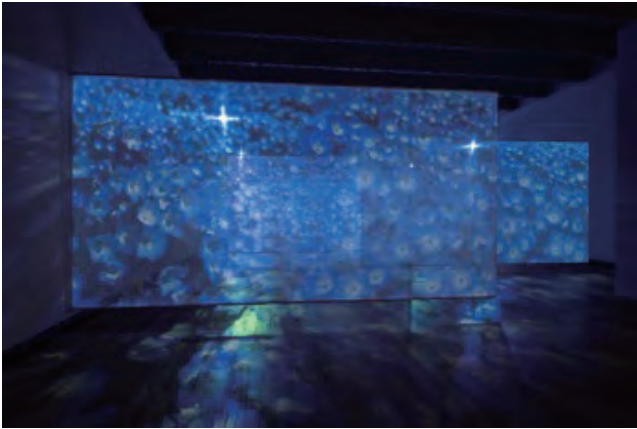
3Dオンラインビューイング

内容：展覧会場場の3VDR空間を掲載
撮影・制作：合同会社ワンダーストック
URL：<https://my.matterport.com/show/?m=DFdJTkjha1W>
公開期間：2022年6月27日（水）～2023年6月26日（月・予定）



会場風景





撮影:加藤健

関連事業

ワークショップ「光であそぶ 色をとる」



撮影:加藤健

蜷川氏の写真や映像作品の特徴である「光」と「色」に着目し、当館の庭園の植物を観察し、カメラで撮影する体験型ワークショップ。美術館からインスタントカメラとカラーフィルターを貸出し、参加者はそれらのツールに加えて、各自が持参したスマートフォンやデジカメを駆使して屋外で写真を撮影した。



日時:2022年8月11日(木・祝)、12日(金) 各日 ①11:00~12:00 ②13:30~14:30 ③15:00~16:00

企画・担当:田村麗恵、大谷郁

場所:東京都庭園美術館 本館1階 ウェルカムルーム

対象:小学生以上

参加者数:89人(1日目:①7組17人 ②7組14人 ③7組14人、2日目:①9組16人 ②9組17人 ③6組11人)



旅と想像／創造 いつかあなたの旅になる



Journey and Imagination: Connecting the Story of Others

会 期:2022年9月23日(金・祝)～11月27日(日)[57日間]

主 催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館

協 力:公益財団法人日本交通公社 旅の図書館

年間協賛:戸田建設株式会社、ブルームバーグL.P.、Van Cleef & Arpels

企 画:森 千花、牟田行秀

担 当:森 千花、吉田奈緒子、鶴 三慧

観 覧 料:一般1,400円／大学生(専修・各種専門学校含む)1,120円／
中学生・高校生700円／65歳以上700円／小学生以下 無料

出品点数:112点

広報印刷物:ポスター(B2、B3等)、チラシ(A4、二つ折り等)

デザイン:中野豪雄(中野デザイン事務所)

会場デザイン:阿部真理子(阿部真理子デザイン事務所)※大広間、北の間

来館者数:29,422人(1日平均516人)

概要

アール・デコの邸宅として知られる庭園美術館の歴史を紐解くと、100年前の朝香宮夫妻のフランスへの旅に辿りつく。本展では、会場となる旧朝香宮邸を夫妻の旅が凝縮された「旅の果実」と位置づけ、彼らが夢見たデザイン空間の中で、同時代の旅をめぐる資料、さらには現代作家による旅をテーマにした新作を紹介し、旅することの意味や価値を問い直すことを試みた。各部屋、各展示室に旅にまつわる個別のテーマを設け、観客が各部屋を巡ることで、実際に旅したような感覚が得られるように動線を設計した。また視覚に留まらず聴覚をはじめ全身で鑑賞するような現代作家のインスタレーションを構成に取り入れた。開催時期はコロナ禍の余波がまだ続く2022年秋であり、「旅の空白期」とも言えるコロナ時代をあらためて振り返る展覧会となった。

展示構成:1. 100年前の旅人——朝香宮のグランドツアー／2. 旅の記録——フォトグラファー朝香宮／3. 旅の記憶——アール・デコ博覧会との邂逅／4. 旅するインフルエンサー——プリンセス允子からの贈り物／5. アール・デコの旅風景——カッサンドル／6. 高田賢三——40年後の欧州航路／7. 福田尚代——時を超える羽ばたき／8. 旅のラウンジ／9. 宮永愛子——移ろいゆく／10. 集めることは旅すること——ある鉄道資料蒐集家の30年、想像の旅への誘い／11. 相川勝——そこに行く／そこに行かない旅／12. さわひらき——旅は日常の中に／13. 相川勝——そこに行ってみた／14. 栗田宏一——日々旅にして旅が住処／15. 宮永愛子——旅の終わりは始まり／16. evala——耳で旅するまだ見ぬ彼方へ

展覧会カタログ

書名:『旅と想像／創造 いつかあなたの旅になる』

所収テキスト:高岡文章(立教大学 観光学部教授)「旅はすでに始まっている」

朝日 真(文化服装学院 西洋服飾史専任教授)「ケンゾーの旅」

牟田行秀「パリ散歩にうってつけの日——旅の記憶と新たな物語のはじまり」

森 千花「いつかあなたの旅になる——6人の現代作家たちの想像／創造」



編集:吉田奈緒子、森 千花

デザイン:中野豪雄/林 宏香(中野デザイン事務所)

発行:東京都庭園美術館

発行数:1,500部

発行日:2023年11月

販売価格:2,800円(税込)



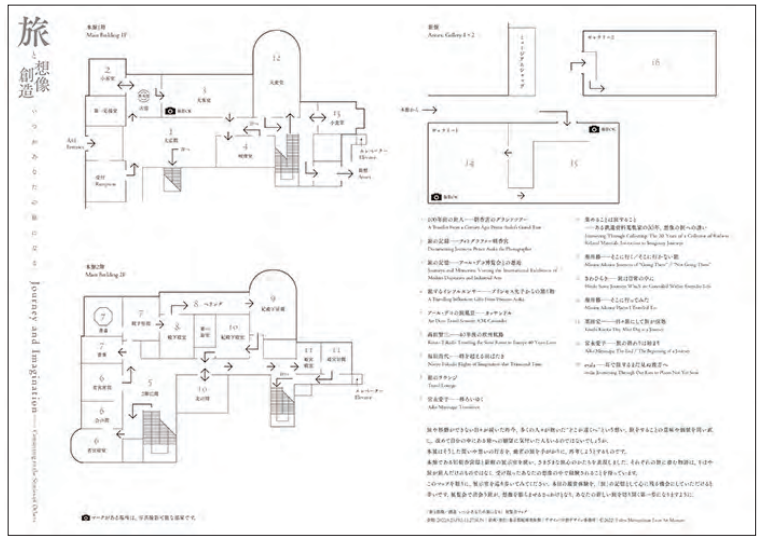
ハンドアウト

タイトル:「旅と想像/創造 いつかあなたの旅になる 展覧会マップ」

版型・ページ数:A3

編集:吉田奈緒子

デザイン・制作:中野デザイン事務所



ギャラリートーク(動画配信)

上映時間:16分00秒

内容:企画担当学芸員(牟田行秀、森 千花)による展覧会展示解説

撮影・制作:大倉英揮(黒目写真館)

公開期間:展覧会会期中





会場風景





1



2



3



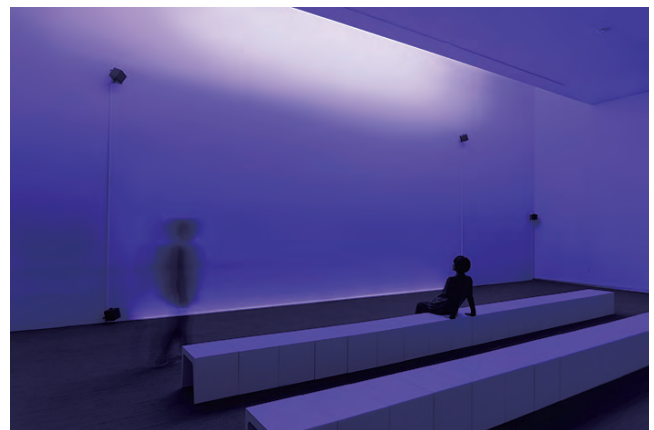
4



5



6



7

1.相川勝《ポストカード》2013年 2.さわひらき《remains》2022年 3.高田賢三《中国ルック1975-76秋冬》1975年 4. 福田尚代《翼あるもの 書庫》2003-2022年 5.宮永愛子《手紙》2013-2019年 6.栗田宏一《「旅」と「土」》2022年 7.evala《Inter-Scape 22》2022年
撮影:加藤 健(7のみ撮影:清水はるみ)



関連事業

特設コーナー展示:「旅の図書館が選ぶ!! 旅のおススメの一冊:私がつくる、私の風景」



本展に関連した参考図書を、「旅の図書館」の司書が選書し、その書籍(10タイトル、15冊)を来場者が手に取って読むことのできるコーナーを会場内に設置した。文献リストも配布。

場所:本館 ベランダ

ミニ・ワークショップ:みんなの「旅」マップ:地図で世界を旅しよう!

思い出の土地、いつか行ってみたい国など、心が動く場所を選び、世界地図や日本地図にシールを貼っていく自由参加型のアクティビティ。

選んだ理由やエピソードを来場者が自由に記し、白地図を埋めていく行為を通して、旅についての経験を交換する機会を提供した。

期間:2023年10月上旬~11月23日

企画:吉田奈緒子、大谷 郁

場所:本館 ウェルカムルーム



ミニ・トーク:「ある鉄道資料蒐集家のつぶやき コレクター中村俊一朗氏をお迎えして」

鉄道資料蒐集家の中村俊一朗氏をゲストに招き、本展に出品されたポスターや鉄道パーツを紹介しながら、30年にわたるコレクション活動について語っていただいた。聞き手は牟田行秀。

日時:2022年11月25日(金) ①16:30~17:00 ②18:30~19:00 全2回

場所:本館 北の間

参加者数:45人



ワンポイント・ギャラリートーク

担当学芸員による展示室でのギャラリートーク。会期終盤平日の混雑しない時間帯を選び、出品作品3点に絞って解説を行った。主に、出品されている現代美術のインスタレーションについて、その見方のポイントを伝え、鑑賞体験をより深めるきっかけを提供した。

日時：2022年11月4日（金）、11日（金）、18日（金）、25日（金）

全4回、各回11:00～（各回30分程度）

場所：本館、新館

参加者数：のべ30人

クロージング・イベント：栗田宏一によるインスタレーション

展覧会の最終日に出品作家の栗田宏一が、屋外空間である連絡通路に4種類の土のインスタレーションを特別展示した。

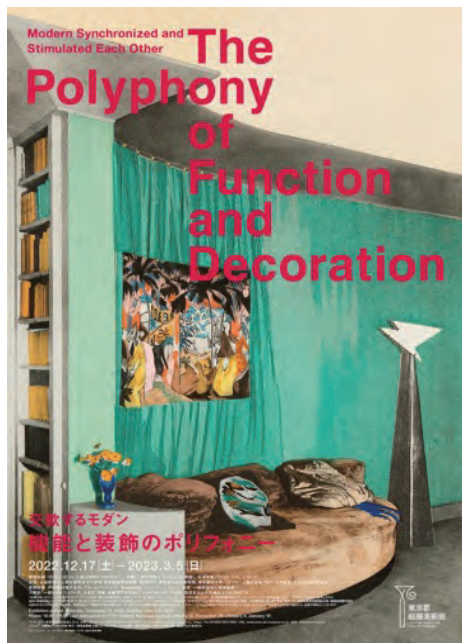
日時：2022年11月27日（日）13:40～18:00頃

場所：連絡通路





「交歓するモダン 機能と装飾のポリフォニー」



The Polyphony of Function and Decoration

Modern Synchronized and Stimulated Each Other

会 期:2022年12月17日(土)~2023年3月5日(日)[61日間]

主 催: 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館

特別協力: 東京国立近代美術館、東京藝術大学、ミサワホーム株式会社

協 力: 日本航空、ヤマト運輸株式会社

助 成: 一般財団法人地域創造年間

協 賛: 戸田建設株式会社、ブルームバーグL.P.、Van Cleef&Arpels

担 当: 大木香奈、田村麗恵

観 覧 料: 一般1,400円/大学生(専修・各種専門学校含む)1,120円/中学生・高校生700円/65歳以上700円

出品点数:398点

広報印刷物:ポスター(B1、B2)、チラシ(A4、4種)

デザイン: 林琢真デザイン事務所

来館者数:30,475人(1日平均500人)

概要

1910~30年代におけるヨーロッパ及び日本の建築家やデザイナーたちの活動を通じて、従来のモダニズム史観を再考する。消費主義・大衆社会の時代においては、機能主義や合理主義が求められる一方で、「装飾」に大きな価値が与えられていた。本展では、グループや動向ごとの紹介に留まらない当時の作家たちの関係性の環に着目しつつ、機能主義と装飾といったありふれた二項対立に収まらない、ジャンル横断的な活動を俯瞰的に紹介した。巡回館である豊田市美術館、島根県立石見美術館、そして当館の特色あるコレクションを核として活用しつつ、パリ装飾美術館のほか国内外の美術館や研究機関の協力を得て、約400点の作品を展示した。会場である同時代建築の本館(旧朝香宮邸)の空間を活かしながら、絵画や家具、ファッション、ジュエリー、食器などの多彩な作品が一つのまとまった空間となるように配慮して展示構成を行った。巡回展ながら、出品作家が多数製作に携わった映画『人でなしの女』の特別上映や、一部出品作家について紹介するジュニアガイドの制作など、開催館独自の試みを積極的に展開した。

展覧会カタログ

書名:『交歓するモダン 機能と装飾のポリフォニー』

編集:千葉真智子(豊田市美術館)、廣田理紗(島根県立石見美術館)

デザイン:大西正一

発行:「機能と装飾」展実行委員会、株式会社赤々舎

発行数:1902部

発行日:2022年7月16日(土)

販売価格:3,300円(税込)





所収テキスト：千葉真智子「交歓するモダン」、角山朋子「フランツ・チゼックとウィーン・キネティシズム 美術工芸学校の「前衛」、柚田佳穂「バウハウスの隣で。ブルク・ギービヒェンシュタイン美術工芸学校」、平芳裕子「シャネルの近代 --ファッションをめぐる機能と装飾」、田中圭子「斎藤佳三の「リズム模様」と婦人和服改良の試み」、ヘレナ・チャプコヴァー「日本モダンデザインのトランスナショナルネットワーク」

ハンドアウト

タイトル：「交歓するモダン 機能と装飾のポリフォニー ハンドアウト」
 版型・ページ数：白黒、両面A3二つ折、12ページ
 企画・編集：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館
 デザイン：林琢真デザイン事務所
 印刷：株式会社アイワード
 発行日：2022年12月17日（土）



ジュニアガイド

タイトル：「交歓するモダン 機能と装飾のポリフォニー ジュニアガイド」
 版型・ページ数：カラー、両面A5蛇腹三つ折、6ページ
 企画・編集：公益財団法人東京都歴史文化財団
 東京都庭園美術館
 デザイン：toinoki
 印刷：株式会社アイワード
 発行日：2022年12月17日（土）





映画上映

タイトル:「人でなしの女」[Inhumaine](1923年/フランス/監督:マルセル・レルビエ)

展覧会の出品作家である建築家のロベール・マレ=ステヴァン、家具デザイナーのピエール・シャロー、服飾デザイナーのポール・ポワレら多数の前衛芸術家が参加したフランス映画を会期中毎日上映した。当時のモダンな室内装飾やファッションが多数登場するもので、本作の上映により当時の作家たちのジャンル横断的な活動の紹介について、より一層の充実を図った。

上映協力:ロプスターフィルム、エルメスジャポン株式会社

上映回数:183回(開館各日3回上映)

時間:各回約125分 〈第一回〉10:30~〈第二回〉13:00~〈第三回〉15:30~



ギャラリートーク(動画配信)

タイトル:「交歓するモダン 機能と装飾のポリフォニー オンラインギャラリートーク」vol.1~6

上映時間:Vol.1「イントロダクション」 8分02秒

Vol.2「ドイツとフランスの室内装飾」 8分31秒

Vol.3「ウィーン工房とポワレ」 11分10秒

Vol.4「生活改善運動」 8分51秒

Vol.5「アール・デコ博覧会」 11分09秒

Vol.6「さまざまなモダン」 7分13秒

内容:展覧会企画者及び担当学芸員による展覧会展示解説、展示紹介

出演:アート・テラー・とに~、千葉真智子(豊田市美術館)、廣田理紗(島根県立石見美術館)、大木香奈(東京都庭園美術館)

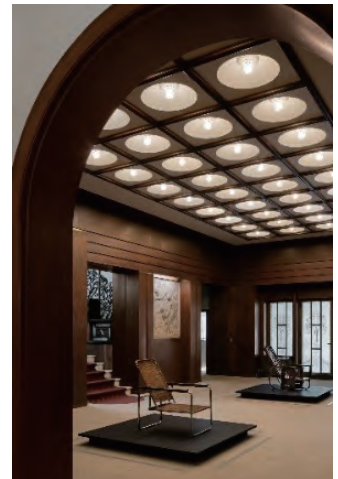
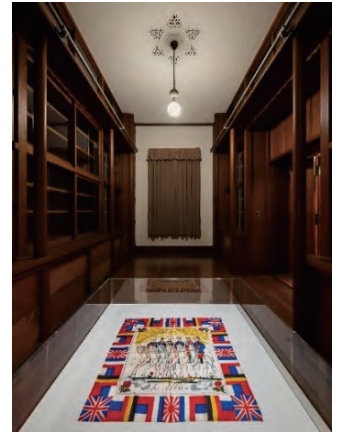
撮影・編集:大倉英揮(黒目写真館)

公開期間:2023年2月10日(金)~3月5日(日)





会場風景





撮影:Nacasa & Partners



関連事業

ワークショップ「ポシヨワールで彩る旧朝香宮邸」





撮影:ただ(ゆかい)

版画技法のひとつであるポショワールについて、作品の鑑賞や制作を通して体験するワークショップを開催した。展覧会に出品されているポショワール作品を見てその技法についての理解を深めたのち、当館の本館建築である旧朝香宮邸の室内空間の写真をベースに、参加者それぞれが思い思いの色彩を用いて装飾を行った。作品にはサインを入れてマット装を行い、最後に鑑賞と振り返りの時間を設けた。

日時:2023年2月23日(木・祝)14:00~17:00

場所:東京都庭園美術館 本館中二階 スタジオ

講師:佐竹宏樹(版画家、東京造形大学特任教授)

対象:中学生以上の方

定員:12人

参加者数:12人

参加費:1,000円

申込方法:館ウェブサイトの申し込みフォームにて事前申込制



3. 紀要の発行

「東京都庭園美術館紀要 2022」



所収テキスト：「令和3年度修理報告」

高橋さおり（東京都庭園美術館 管理係 建物維持管理担当）

「旧朝香宮邸の歩き方——パリでみつけた宮邸誕生の物語」

牟田行秀（東京都庭園美術館 副館長）

発行方法：ウェブサイトおよび印刷物として公開予定



4. 普及事業

東京都庭園美術館 美術館講座 2022

美術館講座 第1回「旧朝香宮邸から建築を語る」

本企画第1回目は、妹島和世新館長による講座として開催。建築家として手掛けてきたルーブル・ランスや金沢21世紀美術館、現在構想中のプロジェクト等、美術館建築のプロジェクトについて解説するとともに、今後の東京都庭園美術館の展望について語った。

日時：2022年10月14日（金）18:30～20:00

会場：東京都庭園美術館 新館ロビー

講師：妹島和世（東京都庭園美術館館長）

参加者数：42人

参加費：なし

申込方法：館ウェブサイトの申し込みフォームにて事前申込制



美術館講座 第1回スピノフ企画

テーマ展示「ランドスケープをつくる」第2回「スカイハウス再読」関連座談会「菊竹清訓氏を語る」

東京都庭園美術館では、朝香宮邸時代に門衛所として建てられた本建物を活用し、「ランドスケープをつくる」を総合テーマとした展示を2度に渡って行った。美術館講座第1回スピノフ企画として開催された本企画は、この第2回目のテーマ展示に因んで開催されたもので、建築家・菊竹清訓氏による自邸「スカイハウス」(1958年竣工)について、横浜国立大学大学院Y-GSAの学生による発表および建築家と繋がりのある登壇者を招いた座談会として開催された。

日時：2023年1月21日（土）18:30～20:00

会場：東京都庭園美術館 新館ギャラリー2

登壇者：伊東豊雄（建築家）、内藤 廣（建築家）、富永 譲（建築家）、妹島和世（建築家・東京都庭園美術館館長）、
大西麻貴（建築家・横浜国立大学大学院Y-GSAプロフェッサーアーキテクト／司会）、
前本哲志・藤本梨沙・照井甲人（横浜国立大学Y-GSA学生）*

参加者数：89人

参加費：なし

申込方法：館ウェブサイトの申し込みフォームにて事前申込制

*肩書はイベント開催時のものです



美術館講座 第2回「アール・デコと装飾の魅力」

重要文化財として指定されている東京都庭園美術館本館は、20世紀初頭にヨーロッパで隆盛をみたアール・デコ様式が採用された旧朝香宮邸が母体となっている。本講座では美術史を専門とする天野知香氏をお招きし、旧朝香宮邸の室内装飾にみられるアール・デコの特質やその魅力について「<アール・デコ>と女性たち——女性たちによる女性たちのための装飾」と題してお話いただいた。

日時:2023年1月27日(金)18:30~20:00

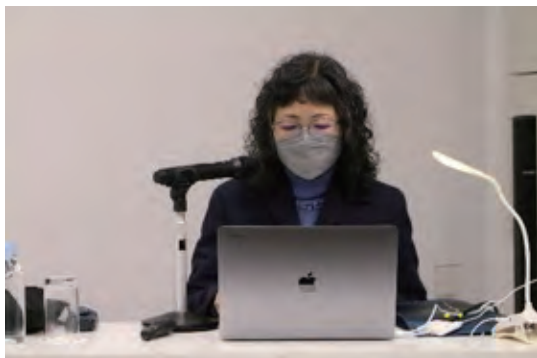
会場:東京都庭園美術館 新館ギャラリー2

講師:天野知香(お茶の水女子大学教授)

参加者数:46人

参加費:なし

申込方法:館ウェブサイトの申し込みフォームにて事前申込制





美術館講座 第3回「朝香宮家のアール・デコ」

「アール・デコの館」といわれる旧朝香宮邸の誕生は、本邸宅の施主であった朝香宮夫妻のパリ訪問がきっかけとなっている。本講座では、「旧朝香宮邸の歩き方——パリでみつけた宮邸誕生の物語」と題し、旧朝香宮邸に秘められた歴史と、展示空間としての館の魅力が、当館副館長のこれまでの調査研究の成果を踏まえて語られた。

日時:2023年2月17日(金)18:30~20:00

会場:東京都庭園美術館 新館ギャラリー2

講師:牟田行秀(東京都庭園美術館副館長)

参加者数:65人

参加費:なし

申込方法:館ウェブサイトの申し込みフォームにて事前申込制





5. クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー事業

障害のある方対象 アート・コミュニケーターとめぐる庭園美術館

障害のある方対象 アート・コミュニケーターとめぐる庭園美術館

段差や狭い間口が多い文化財建築の建物内で、障害のある方にも安心してご鑑賞いただけるよう、休館日に人数を限したツアーを令和2年度より実施している。参加者一組ごとにアート・コミュニケーターが付き添い、個別のペースに合わせて移動や鑑賞のサポートを行う。本年度は展覧会ごとに開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため1回中止となり、計3回の実施で、あわせて49組78名の参加があった。ツアー中は、建築内部に施された文様の触知板の活用や、見えづらい作品をiPadの画面で拡大するなどの工夫を行い、各組ごとに会話を楽しみながら鑑賞した。また、カフェとミュージアムショップも時間限定で営業し、ツアー以外の時間帯もゆっくりと過ごせるようにした。



日時：①2022年6月6日(月)「建物公開2022 アール・デコの貴重書」

②2022年7月25日(月)「蜷川実花 瞬く光の庭」

③2022年10月24日(月)「旅と想像／創造 いつかあなたの旅になる」

④2023年2月27日(月)「交歓するモダン 機能と装飾のポリフォニー」

【午前の部】10:30～12:00(10:15受付開始) 【午後の部】13:30～15:00(13:15受付開始)

場所：東京都庭園美術館 展示室

対象：身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳などをお持ちの方

定員：各回10名とその介助者1名まで(定員を超過した場合は抽選)

参加者数：①19組34人 ②18組35人 ③16組24人 ④14組19人

参加費：無料

申込方法：館ウェブサイトのフォームより事前申し込み

運営委託：特定非営利活動法人アート・コミュニケーション推進機構

運営協力：アート・コミュニケーター東京



赤ちゃんを楽しむ美術館

ベビーといっしょにミュージアムツアー

子育て中の家族を応援するプログラムとして、乳幼児とその保護者のための鑑賞ツアーを令和2年度より実施している。乳幼児と一緒にでも躊躇せずに来館し、誰にも気を遣わずに過ごせるよう休館日を利用。当日は参加者一組ごとにアート・コミュニケータが付き添い、館内での滞在や鑑賞をサポートする。また、本館は通常ベビーカーでの入館はできないが、当日のみ特別に可能とした。本年度は計3回開催し、34組85名の家族が参加した。

日時：①2022年5月23日(月)「建物公開2022 アール・デコの貴重書」
 ②2022年11月21日(月)「旅と想像／創造 いつかあなたの旅になる」
 ③2023年1月30日(月)「交歓するモダン 機能と装飾のポリフォニー」
 11:00～12:00(受付開始:10:30)

場所：東京都庭園美術館 展示室

対象：ベビーカーに乗る年齢・月齢の赤ちゃんとその保護者

定員：各回10組(保護者は2名まで。定員を超過した場合は抽選)

参加者数：①11組28人 ②11組29人 ③12組28人

参加費：無料

申込方法：館ウェブサイトのフォームより事前申し込み

運営委託：特定非営利活動法人アート・コミュニケーション推進機構

運営協力：アート・コミュニケータ東京、ベビーといっしょにミュージアム



ベビーデー 赤ちゃんと暮らす家族のための特別開館日

令和2年度より実施してきた「ベビーといっしょにミュージアムツアー」を拡大し、本年度は休館日の美術館を特別に開室し、「ベビーデー」を行った。夏休み中のきょうだいも参加できるよう8月に開催日を設け、蜷川実花「瞬く光の庭」展を貸し切りの環境で鑑賞できる一日とした。アート・コミュニケータが館内での滞在をサポートしたほか、従来の鑑賞ツアーも同時に実施し、家族ごとに過ごし方を選べるよう工夫した。一緒に来館したきょうだいを含め136名が参加した。

日時：2022年8月22日(月) 10:00～15:00

場所：東京都庭園美術館 展示室

対象：ベビーカーに乗る年齢・月齢の赤ちゃんとその保護者

定員：60組(保護者は2名まで。定員を超過した場合は抽選)

参加者数：52組136人

参加費：無料

申込方法：館ウェブサイトのフォームより事前申し込み



撮影：池ノ谷侑花(ゆかい)



運営委託:特定非営利活動法人アート・コミュニケーション推進機構

運営協力:アート・コミュニケータ東京、ベビーといっしょにミュージアム

ダイバーシティプログラム

様々な文化背景の人々が美術館を拠点に、文化や言葉を超えて理解を深めることを目指し、令和3年度より「やさしい日本語で美術館を楽しむプログラム」を行っている。本年度はアーティストと日本語教師を講師に迎え、小学生を対象に「交歓するモダン 機能と装飾のポリフォニー」展を舞台にワークショップを行った。「わたしの椅子をつくろう!」と題し、展示作品の椅子を鑑賞したあと、アーティストが用意した様々な材料を使用してオリジナルの椅子を制作した。参加者の約半数程度が外国語を母語、または日常的に使う子供たちだったため、やさしい日本語以外にも、英語でのフォローや図示など、様々な方法でのコミュニケーションがとれるよう工夫した。

やさしい日本語で美術館を楽しむプログラム「わたしの椅子をつくろう!」

日時:①2023年2月12日(日) 13:30~16:00

②2023年2月25日(土) 13:30~16:00

場所:東京都庭園美術館 本館中2階 スタジオ及び展示室

対象:小学3年生~6年生(外国にルーツがある子供、日本の子供)

参加者数:①9人 ②9人

参加費:無料

講師:中島裕子(アーティスト)、西山陽子(日本語教師)

広報協力:港区、一般財団法人港区国際交流協会



撮影:井手大



6. 旧朝香宮邸資料公開室の運営

ウェルカムルーム運営

来館者一人一人が能動的に美術館体験を楽しむためのラーニング・プログラムの拠点。カンバセーション・テーブル「さわる小さな庭園美術館」、建築紹介の音声ガイドとしても使えるアプリのためのタブレット端末、本棚、ワークシートなどが設置されており、展覧会鑑賞前後にのんびり過ごす空間として親しまれている他、学校団体などの受け入れや、ワークショップの会場としても活用。展覧会ごとに関連書籍、気軽に参加できるワークなどを用意している。

開室日数:233日

利用者数:17,740 人

スタッフ向け カンバセーションテーブル「さわる小さな庭園美術館」体験ワークショップ

ウェルカムルームに常設している「さわる小さな庭園美術館」のデザイナーである齋藤名穂氏を講師に招き、スタッフ向けのワークショップを行った。ツールのコンセプトや体験方法を改めて学び、プログラムや日々の接客の中で積極的に活用することを目指した。

日時:2022年5月30日(月)13:30~16:00

対象:ウェルカムルーム担当スタッフ(監視スタッフ)、館職員など

参加者数:18人

講師:齋藤名穂(建築家、デザイナー)





7. 学校連携事業

スクールプログラム

美術館が担う役割のひとつに学校教育との連携がある。その役目を深め、学校の様々なニーズに応えるために令和3年度より学校連携事業を開始した。児童・生徒の団体来館を受け入れる2つのコースと、教員を対象にした鑑賞機会を設けた。本年度は出張授業やオンライン授業も実施し、多様な連携方法の可能性を探ることができた。



撮影:かくたみほ

児童・生徒のためのプログラム

スクールプログラム(開館日コース)

通常の開館日(平日のみ実施)に学校団体での来館を受け入れるコース。冒頭にレクチャーをするなど、授業目的と生徒の関心に合わせてプログラムを行い、個人でも主体的に鑑賞できるようにした。

本年度は実際の来館以外にも、東京都現代美術館と連携し、オンラインでの授業を複数回実施した。

2022年7月8日(金)東京都立足立特別支援学校(オンライン授業) 高等部普通科1年生 11人(+教員4人)

2022年7月8日(金)宮城県立仙台第一高等学校 2年生 40人(+引率教員4人)

2022年9月28日(水)東洋女子高等学校 1年生 8人(+引率教員1人)

2022年10月28日(金)東京都立足立特別支援学校(オンライン授業) 高等部普通科1年生 9人(+教員4人)

2022年11月2日(水)北区立西ヶ原小学校(出張授業①) 6年生 69人(+教員3人)

2022年11月30日(水)北区立西ヶ原小学校(出張授業②) 6年生 69人(+教員3人)

2023年1月12日(木)一般財団法人日本国際協力センター フィリピンの高校生 19人(+引率5人)

スクールプログラム(休館日コース)

展示室を休館日に特別に開放し、貸し切りの環境で建物や、開催中の展覧会を鑑賞。学校教員と相談の上プログラムを決定し、学校での事前授業やガイダンスを行うことで、児童が主体的に参加できるよう工夫した。

2022年11月1日(火)港区立筈小学校(事前出張授業) 6年生 84人(+引率教員4人)

2022年11月7日(月)港区立筈小学校 6年生 82人(+引率教員5人)

その他学校団体等の受け入れ

2022年9月29日(木)東京都立大学プレミアムカレッジ 29人(+引率1人)

2022年11月15日(火)東洋大学国際観光学部 47人(+引率1人)

2022年12月18日(日)武蔵野美術大学芸術文化学科 55人(+引率5人)



先生のためのプログラム

ティーチャーズウィーク

都内の小・中・高等・特別支援学校の先生を対象に展覧会ごとに無料で観覧できる機会を設けた。美術館での鑑賞授業に向けた研修の一環として活用できるようにした。

期間：①2022年4月26日(火)～5月5日(木・祝)

②2022年6月28日(火)～7月6日(水)

③2022年9月27日(火)～10月5日(水)

④2023年1月5日(木)～13日(金)

参加者数:45人

教員研修等の受け入れ

2022年8月4日(木)小平市立中学校美術科 10人

2022年8月10日(水)練馬区小学校教育会図画工作部研究部 17人



8. 東京都庭園美術館コンサート

クラシックのサロンコンサートを開催し、広く当館を知ってもらおうきっかけとした。
令和4年度については、4公演を行い、定員を従来の80名に戻し開催した。

開催日：令和5年3月17日（金）、3月18日（土）
主催者：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館、
株式会社ジャパン・アーツ
企画：朝香誠彦
協賛：株式会社ニッピコラーゲン化粧品
協力：株式会社ショコラティエ・エリカ
チケット全席自由：5,500円
広報印刷物：チラシ（A4） デザイン：株式会社 光栄社



旧朝香宮邸 東京都庭園美術館コンサート 2022

実施回数：4回
来場者数：303人

第1回 伊藤悠貴 チェロ・リサイタル

日時：3月17日（金）14時開演
会場：本館大広間
来場者数：74人

第2回 成田達輝 ヴァイオリン・リサイタル

日時：3月17日（金）18時開演
会場：本館大広間
来場者数：86人

第3回 松本 蘭 ヴァイオリン・リサイタル

日時：3月18日（土）14時開演
会場：本館大広間
来場者数：72人

第4回 戸室 玄 ピアノ・リサイタル

日時：3月18日（土）18時開演
会場：本館大広間
来場者数：71人



9. 美術品の収集

当館の収集方針に沿う作品および資料 3 件を購入し、幅広い分野から収集することができた。いずれも今後の展覧会での積極的な活用が期待される。

購入

名称：貴重な庭園 Les Jardins Précieux

作者：レイモン・シャルメゾン

制作年：1919 年

サイズ：49.0cm×33.5cm

素材・技法：紙、ポショワール



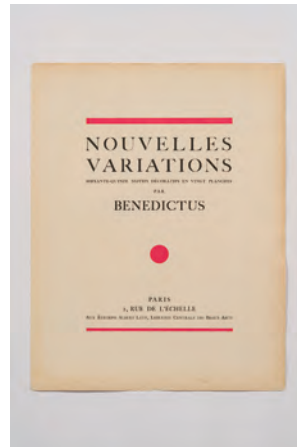
名称：ヌーヴェル・ヴァリアシオン Nouvelles Variations

作者：エドゥアール・ベネディクトゥス

制作年：1920 年代末

サイズ：34.6cm×25.0cm

素材・技法：紙、ポショワール



名称：ワードローブ・トランク

作者：ルイ・ヴィトン社／製

制作年：1920 年代

サイズ：113.5cm×56.0cm×57.5cm

素材・技法：皮革、木材、布地





10. 広報事業

2022年度は館公式SNSにおける新しい発信方法に積極的に取り組んだ。その結果、2022年10月に公式Twitterが15万人フォロワーを達成し、公式Instagramも7万人のフォロワーを達成した。さらに、YouTubeチャンネル登録者数も1,000人を超え、広報展開の軸としてさらなるSNS活用が期待される。

取材招致については、フジテレビ「めざましテレビ」ならびに、テレビ東京「なないろ日和!」において、「旅と想像／創造 つかああなたの旅になる」展が取り上げられた。NHK「日曜美術館お正月SP ハッピーニューアーツ!」では、「交歓するモダン 機能と装飾のポリフォニー」展の紹介と、開館40周年を記念し本館大客室での収録が行われた。さらに、テレビ東京「孤独のグルメseason10」のストーリー展開部分で当館が舞台となり、民放ドラマで初めて取り上げられた。その他に、毎日映画社から朝香宮邸にまつわるフィルムが見つかったと連絡を受けたことを発端に、BS-TBSの特番「甦る宮家の肖像～幻のフィルム発見～」の制作協力・放映をすることができた。

上述よりSNS発信面では、従来は画像及びギャラリートーク動画の投稿のみにとどまっていたが、時代の潮流を汲み取り、短い動画形式のものを連続的に投稿することで、若年層の関心を高めることができた。加えて、「蜷川実花 瞬く光の庭」展ではインスタライブを定期的実施し、視聴者とのインタラクティブでリアルな交流ができた。結果的に過去最高値の投稿閲覧数を記録した。さらに、テレビ放送も大規模なものを数多く実現できたことで、幅広い層に認知を図ることができた。

対外的な活動としては、東京都生活文化スポーツ局の「Tokyo Arts and Culture」での定期発信、そして「Art Week Tokyo」との広報連携や、東京のミュージアム情報を国公立・私立問わずまとめて見られる「#tokyomuseums」との連携など、財団施設を越えた広報活動に積極的に参加し、今後の協力体制を構築するスタートラインに立てた。

2023年度は開館40周年という節目の年を迎えることから、より多くの方々に幅広い情報をわかりやすくスムーズに伝えるべく、前回のリニューアルから8年が経過し、課題が顕在化している現ウェブサイトのリニューアルを行う。

掲載実績

■テレビ・ラジオ放送件数 13件

「蜷川実花 瞬く光の庭」展：テレビ朝日「東京サイト」、東京MX「TOKYO MX」

「旅と想像／創造 つかああなたの旅になる」展：フジテレビ「めざましテレビ」他

「交歓するモダン 機能と装飾のポリフォニー」展：NHK「日曜美術館お正月SP ハッピーニューアーツ!」他

■新聞掲載数 55件

「旅と想像／創造 つかああなたの旅になる」展：「東京新聞」(2022年11月25日付 高山羽根子)及び「毎日新聞」(2022年11月9日付 平林由梨)に展覧会評が掲載された。

「交歓するモダン 機能と装飾のポリフォニー」展：「読売新聞」(2023年1月23日付 大木香奈)に担当学芸による執筆原稿が掲載された。

■雑誌等 119件

「婦人画報」「ar」「GINZA」「skyward」「翼の王国」他

■インターネット 186件

「ウェブ美術手帖」「Tokyo Art Beat」「美術展ナビ」他



公式ウェブサイト(2022年4月1日～2023年3月31日)

■アクセス数 4,707,612PV(前年比+661,916)

■新規ユーザー数 1,114,314(前年比+132,972)

各テレビ放送後の公式ウェブサイトのPV数の伸びは次のとおり。

- ・BS-TBS「甦る宮家の肖像～幻のフィルム発見～」(8月22日放送) 6,027PV(前日比+1,563)
- ・テレビ東京「孤独のグルメseason10」(10月15日放送) 6,796PV(前日比+3,080)
- ・フジテレビ「めざましテレビ」(11月3日放送) 5,847PV(前日比+1,400)
- ・NHK「日曜美術館 アートシーン」(1月29日放送) 6,643PV(前日比+2,318)
- ・TBS「皇室アルバム」(2月23日放送) 5,079PV(前日比+1,036)

通常は、平均して4,000PV程度の数値で安定しているが、放送後は多くの方々が公式ウェブサイトを訪問していることがわかる。

蜷川実花展 特設ウェブサイト(2022年5月25日～2023年3月31日)

■アクセス数 3,851,982PV

■新規ユーザー数 926,437

「蜷川実花 瞬く光の庭」展では、作家の世界観をよりの確に表し、展覧会情報を効率的に発信する目的で、当館初の試みとして展覧会特設サイトを開設した。

公式SNS

- Twitter 投稿数:290回(前年比+35) フォロワー数:156,044人(前年比+13,299)
- Facebook 投稿数:275回(前年比+93) フォロワー数:28,318人(前年比+1,504)
- Instagram 投稿数:247回(前年比+98) フォロワー数:74,211人(前年比+9,304)
- YouTube 投稿数:13回(前年比0) フォロワー数:1,142人(前年比+368)

展覧会プレス内覧会

「建物公開2022 アール・デコの貴重書」展

- ・プレス内覧会 4月22日(金) 39名出席

「蜷川実花 瞬く光の庭」展

- ・プレス内覧会 6月24日(金) 214名出席
- ・インフルエンサー向け内覧会7月1日(金)、7日(木)、13日(水)、20日(水) 302名出席 ※総「いいね」数 126,886

「旅と想像／創造 いつかあなたの旅になる」展

- ・プレス内覧会 9月22日(木) 73名出席
- ・インフルエンサー向け内覧会11月10日(木)、11日(金)、14日(月) 10名出席 ※総「いいね」数 5,870

「交歓するモダン 機能と装飾のポリフォニー」展(12月16日)

- ・プレス内覧会 12月16日(金) 64名出席



周辺近隣広報対応

- ・バナーの設置(美術館前1箇所、目黒通り沿い15箇所)4回更新
- ・JR目黒駅及び東京メトロ・都営線白金台駅周辺への地図掲示(各駅1箇所)
- ・港区シティプロモーション事業への協力(港区観光ポスターならびにANA機内誌での広告にて当館のビジュアルを使用)



11. 美術館維持管理

令和4年度は、庭園合わせて約21万人の来館者を迎えた。昨年度に引き続き警備や受付・監視業者の協力のもと、コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら来館者が安全・快適に鑑賞できるような美術館の体制構築に心掛けた。

設備点検・清掃

収蔵庫、本館・新館展示室等の適切な空調管理のための日常点検、快適な展示スペース確保のための清掃を行った。

館内連絡会等の定期開催

館内連絡会の定期開催により、館と委託業者のみならず、各業者間の連携・協力体制を確立し、課題検討、来館者サービスの向上に努めた。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、以下を実施した。

- ・ 正門入口での検温
- ・ 本館受付カウンターのアクリルパネル設置
- ・ 空気清浄機の設置(本館受付・ロッカー室・ウェルカムルーム・新館1階ロビー)
- ・ 館内ルール館内放送の実施

チケットサービスの実施

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、展覧会・庭園チケット販売方法に日時指定予約を実施した(※庭園のみチケットは12月から中止)。

チケット売場棟の活用

9月末日までチケット売場棟の情報センターには当館他、歴史文化財団各館や当館と関連する館のポスター掲示やチラシを設置した。また、10月28日から1月29日までは「ランドスケープをつくる」と題したテーマ展示を行った。2月上旬から3月末までは、ミュージアムショップ事業とギャラリー機能を併せ持つように改装工事を行った。

工事・修繕等

- ・ 展示室系統空調機メンテナンス
- ・ 情報基盤整備工事の実施(高速インターネット回線工事)
- ・ 高圧ケーブル引換工事
- ・ 旧門衛所(チケット売場棟)改装工事
- ・ その他、適宜不具合対応に努めた

香水塔照明電球の交換作業およびコンディションチェック

旧朝香宮邸のシンボリック装飾でもある香水塔上部についている照明電球の交換作業は、令和3年度から継続して文化財専門家に委託し、年間4回の電球交換、電気設備部分のメンテナンスを実施した。また、陶器部分は平成26年の香水塔修復以降、専門家の目による確認を行っていなかったため、令和4年度はコンディションチェックとして香水塔本体及び照明カバーである渦巻部分のチェックを行った。コンディションチェックの結果、良い状態が保たれているとの報告を受けている。



防災訓練の実施

第1回：令和5年2月1日(火)～2月19日実施(土)／第2回：令和5年2月20日実施

東京都が実施する工事への連携・協力

東京都庭園美術館(4)新館前舗装改修工事实施設計(その2)に関して、定例会へ参加し館の立場から情報提供し、工事設計に連携・協力した。



12. 収益事業

ミュージアムショップの運営

新館1階ロビーのミュージアムショップ「リュミエール(Lumière)」において、来館者等に庭園美術館オリジナルグッズや展覧会グッズのほか、図録や芸術関連書籍などを販売した。

実績

購入客数：33,571人

営業日数：238日

営業時間：10：00～18：00

定休日：毎週月曜日(祝日の場合は営業、翌日休み)、年末年始、展覧会準備期間

※美術館休館日に準ずる

事業者：株式会社オークコーポレーション



「蜷川実花 瞬く光の庭」展 関連グッズ



東京都庭園美術館オリジナル和三盆



レストラン、カフェの運営

正門横のレストランと新館1階のカフェがあり、同一の事業者が営業を行っている。

正門横のレストランは西洋庭園と本館側がサッシュレス全面ガラスの開放感ある建物で、美術館のチケットがなくても利用できることが特長である。

新館1階のカフェは展覧会入場者のみが利用することができる。

運営事業者の変更により、「蜷川実花 瞬く光の庭」展終了後閉店し、「旅と想像／創造」展よりリニューアルオープンを行った。

実績

2022年4月1日(金)～2022年9月4日(日)(事業者：メゾン・ド・ミュゼ株式会社)

レストラン「Du Parc」

フレンチをベースに比較的リーズナブルな料金でコース料理を提供した。

利用者数：13,510人

営業日数：133日

営業時間：ランチ 11：00～13：30

カフェ 14：00～18：00

定休日：毎週月曜日(祝日の場合は営業、翌日休み)、年末年始 ※美術館休館日に準ずる

席数：52席(テーブル44席／カウンター8席)

カフェ「café TEIEN」(カフェ庭園)

オリジナルのスイーツが充実しており、それぞれの展覧会に合わせたスイーツは見栄えの良さからInstagramに多くアップされた。

利用者数：14,565人

営業日数：126日

営業時間：10：00～18：00

定休日：毎週月曜日(祝日の場合は営業、翌日休み)、年末年始、展覧会準備期間

席数：34席(屋内22席／テラス12席)



「建物公開 2022～アール・デコの貴重書～」コラボメニュー
ダミエ～ジャンドゥーヤのムースにアプリコットを忍ばせて～



2022年9月23日(金)～2023年3月31日(金)(事業者：株式会社フードワークス)

レストラン「comodo(コモド)」(2022年10月1日オープン)

イタリアンとフレンチが融合した料理を、窓外に広がる四季折々の景色を眺めながら楽しめる。

利用者数：13,185人

営業日数：153日

営業時間：ランチ 11：00～15：00(ラストオーダー 14:00)

カフェ 15：00～16：30(フードラストオーダー 16:00)

ディナー 17：30～21：00(ラストオーダー 20:00)

定休日：毎週月曜日(祝日の場合は営業、翌日休み)、年末年始 ※美術館休館日に準ずる

席数：52席(テーブル44席/カウンター8席)



カフェ「café TEIEN」(カフェ庭園) (2022年9月23日オープン)

自然光が全面に差し込む開放的なガラス張り空間で、癒しのひとときを過ごすことができる。

利用者数：11,180人

営業日数：119日

営業時間：10：00～18：00

定休日：毎週月曜日(祝日の場合は営業、翌日休み)、年末年始、展覧会準備期間

席数：34席(屋内22席/テラス12席)





ユニークベニュー事業

歴史的建造物や文化施設等で、会議やイベント、レセプション等を開催することで、特別感を演出できる会場となるユニークベニュー事業を、平成 29 年より実施している。

実績

「Sound/ Voice/ Contact : 鼓動 Uni-ssentials presentation by TOKYO DESIGN STUDIO New Balance」

TOKYO DESIGN STUDIO New Balance は、2023 年春夏シーズンより、年齢や性別に捉われずすべての人に快適なフィットとスタイルを提供するニューバランスのコンセプト「Uni-ssentials」による新たなパフォーマンス・ライフスタイルコレクション「Uni-ssentials by TOKYO DESIGN STUDIO New Balance」を展開する。多様な価値を内包している東京都庭園美術館の中で、内と外との境界が中和したガラス壁の新館は「Uni-ssentials」の発表の場に最適であるとして、会場に選ばれた。新館ロビーでは、美術家・映像作家の中村壮志氏によるオリジナル映像作品の放映し、カフェでは 2023 年春夏コレクションを展示した。

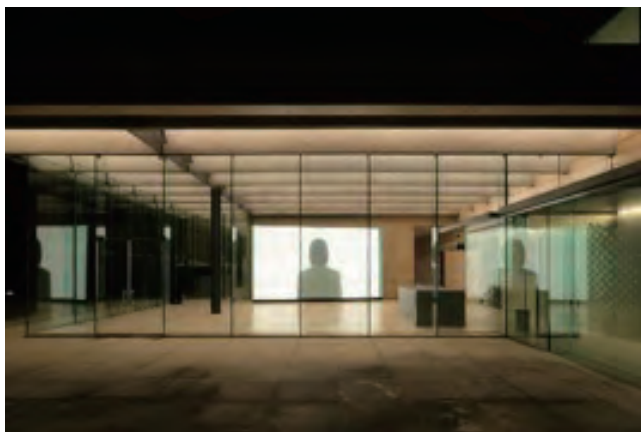
日時：2022 年 10 月 31 日(月) 16:00 ~ 19:00

主催：株式会社ニューバランスジャパン

企画運営担当事業者：株式会社ダブル

会場：新館ロビー、テラス、前庭、カフェ

来場者数：170 人(バイヤー、プレス関係者)



レセプション(非公開)

日時：2022 年 11 月 17 日(木) 18:30 ~ 21:30

主催：非公開

会場：新館ロビー、テラス、前庭、カフェ

来場者数：35 人



建築学会賞祝賀会

近年中に、主として国内に竣工した建築の設計であり、技術・芸術の進歩に寄与する優れた作品におくられる日本建築学会賞の、2022年の受賞者である平田晃久氏の祝賀会を開催した。

日時：2022年11月25日(金)18:00～20:30

主催：株式会社平田晃久建築設計事務所

会場：レストラン、ガーデンテラス

来場者数：60人

その他の収益事業

施設商用撮影貸出(ロケーションボックス)

100,000円(2件)

施設写真商用貸出(イメージライセンス)

100,452円(5件)

自動販売機運営

管理手数料 344,839円

駐車場

4,724,000円(普通車：2,992台 バス：59台)

令和4年度の実績

1. 入館者数

(単位：人)

| 事 項 | 事前 予約 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 基準値 | 基準値 対比 | 前年同期 累計 |
|--------------|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|-----------|------------|
| 奇想のモード | ○ | 9,911 | | | | | | | | | | | | 9,911 | 6,000 | 165.2% | — |
| 建物公開2022 | ○ | 4,157 | 18,549 | 9,591 | | | | | | | | | | 32,297 | 40,000 | 80.7% | — |
| アール・デコの貴重書 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 蜷川実花展 | ○ | | | 3,727 | 17,564 | 22,329 | 5,812 | | | | | | | 49,432 | 55,000 | 89.9% | — |
| 旅と移動展 | ○ | | | | | | 2,748 | 11,042 | 15,632 | | | | | 29,422 | 38,000 | 77.4% | — |
| 機能と装飾 | ○ | | | | | | | | | 3,369 | 8,578 | 14,218 | 4,310 | 30,475 | 46,000 | 66.3% | — |
| 観覧者 合計 | | 14,068 | 18,549 | 13,318 | 17,564 | 22,329 | 8,560 | 11,042 | 15,632 | 3,369 | 8,578 | 14,218 | 4,310 | 151,537 | 185,000 | 81.9% | 123,886 |
| 庭園のみ入場者 | | 6,313 | 5,993 | 4,312 | 2,118 | 1,788 | 4,368 | 7,036 | 8,281 | 7,582 | 2,353 | 3,890 | 10,070 | 64,104 | 66,800 | 96.0% | 39,110 |
| その他入館者 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 展覧会に伴う講演会 | | 39 | 0 | 214 | 302 | 0 | 73 | 0 | 55 | 64 | 0 | 0 | 0 | 747 | 800 | | 0 |
| 展覧会ギャラリーツアー等 | | 0 | 28 | 34 | 35 | 225 | 0 | 24 | 59 | 0 | 28 | 31 | 0 | 464 | 240 | | 151 |
| ワークショップ等 | | 0 | 30 | 44 | 0 | 0 | 0 | 24 | 44 | 0 | 0 | 0 | 0 | 142 | 120 | | 115 |
| ミュージアム・コンサート | | 0 | 430 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 303 | 733 | 650 | | 175 |
| その他イベント | | 76 | 18 | 0 | 122 | 27 | 126 | 135 | 450 | 93 | 173 | 83 | 0 | 1,303 | 580 | | 568 |
| その他入館者合計 | | 115 | 506 | 292 | 459 | 252 | 199 | 183 | 608 | 157 | 201 | 114 | 303 | 3,389 | 2,390 | | 1,009 |
| 入館者 総 合 計 | | 20,496 | 25,048 | 17,922 | 20,141 | 24,369 | 13,127 | 18,261 | 24,521 | 11,108 | 11,132 | 18,222 | 14,683 | 219,030 | 253,810 | | 164,005 |

※その他入館者は、館主催の自主事業利用者数とする。

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|-----|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| 外国人入館者 | 企画展 | 23 | 52 | 18 | 47 | 58 | 24 | 87 | 146 | 79 | 138 | 225 | 44 | 941 | 197 |
| | 庭のみ | 20 | 25 | 23 | 23 | 29 | 43 | 72 | 95 | 101 | 44 | 49 | 226 | 750 | 193 |
| 茶室公開 | | 5,711 | 1,184 | 696 | 4,263 | 4,238 | 1,146 | 4,621 | 7,772 | 4,398 | 3,775 | 5,845 | 5,087 | 48,736 | 37,837 |

※茶室一般公開休止5/4～6/24、8/23～9/21

| 令和4年度 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------------------|-----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| ワクチン接種キャンペーン利用者数 | 6 | 8 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | | | | | | 17 |
| Welcome Youth | 225 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | 225 |

2. 広報・宣伝

| 事 項 | 区 分 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 前年同期比 |
|--------|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|-----------|--------|
| マスコミ | TV・ラジオ放送件数 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 1 | 2 | 2 | 0 | 2 | 2 | 1 | 13 | 118.2% |
| | 新聞掲出件数 | 3 | 6 | 6 | 2 | 4 | 5 | 5 | 3 | 7 | 7 | 2 | 5 | 55 | 107.8% |
| | 雑誌等掲出件数 | 25 | 20 | 41 | 30 | 25 | 26 | 31 | 26 | 31 | 16 | 21 | 13 | 305 | 84.0% |
| ホームページ | アクセス件数 (PV) | 448,037 | 519,821 | 398,747 | 404,708 | 441,873 | 342,715 | 433,276 | 420,507 | 241,564 | 326,015 | 371,513 | 358,836 | 4,707,612 | 116.4% |
| ツイッター | フォロワー数 | 144,283 | 145,849 | 147,108 | 148,107 | 149,273 | 150,078 | 151,216 | 151,907 | 152,715 | 153,643 | 154,717 | 1,560,044 | 1,560,044 | 197.3% |

3. 収益事業収入

| 事 項 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 前年同期比 | |
|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|--------|
| 管理手数料及び売上高 | MS管理手数料 | 745,508 | 694,438 | 683,953 | 1,077,041 | 1,348,029 | 466,925 | 424,406 | 481,622 | 206,597 | 461,242 | 776,090 | 276,639 | 7,642,490 | 297.9% |
| | 飲食施設管理手数料 | 1,261,700 | 1,364,234 | 1,261,700 | 1,261,700 | 1,261,700 | 418,508 | 1,420,425 | 1,840,746 | 1,261,700 | 1,261,700 | 1,416,748 | 1,669,940 | 15,700,801 | 113.4% |
| | 駐車場売上高 | 418,500 | 519,000 | 347,500 | 489,500 | 721,000 | 288,500 | 372,500 | 471,000 | 218,500 | 233,500 | 347,500 | 297,000 | 4,724,000 | 113.5% |
| | 自販機管理手数料 | 28,273 | 31,385 | 29,265 | 32,476 | 28,148 | 31,237 | 29,057 | 25,748 | 25,893 | 22,698 | 21,640 | 39,019 | 344,839 | 104.4% |
| 計 | 2,453,981 | 2,609,057 | 2,322,418 | 2,860,717 | 3,358,877 | 1,205,170 | 2,246,388 | 2,819,116 | 1,712,690 | 1,979,140 | 2,561,978 | 2,282,598 | 28,412,130 | 135.9% | |



令和4年度の実績 4. 展覧会関連事業

(参考) ミュージアムショップ売上高

(税抜)

| MS 売上 高 | 事 項 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 前年同期比 |
|---------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|--------|-------|
| | | 開店日数 | 16 | 26 | 17 | 28 | 27 | 11 | 27 | 24 | 24 | 9 | 23 | 25 | 5 |
| 売上高(円) | 5,522,050 | 5,666,721 | 5,493,697 | 7,825,967 | 9,757,177 | 3,405,574 | 3,316,174 | 4,354,031 | 1,567,367 | 3,491,310 | 5,822,647 | 2,063,632 | 58,286,347 | 109.1% | |
| 購買客数(人) | 2,922 | 3,713 | 3,294 | 4,902 | 6,052 | 1,843 | 1,866 | 2,457 | 710 | 1,773 | 3,085 | 954 | 33,571 | 117.9% | |
| 1日平均売上金額 | 345,128 | 217,951 | 323,159 | 279,499 | 361,377 | 309,598 | 122,821 | 181,418 | 174,152 | 151,796 | 232,906 | 412,726 | 244,901 | 100.4% | |
| 1人平均購買金額 | 1,890 | 1,526 | 1,668 | 1,596 | 1,612 | 1,848 | 1,777 | 1,772 | 2,208 | 1,969 | 1,887 | 2,163 | 1,736 | 92.6% | |

※各展覧会ごとの特設売店の設置手数料及び購買客数も含む

(参考) 飲食施設売上高

(税抜)

| 飲食 施設 売上 高 | 事 項 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 前年同期比 |
|---------------------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|-----------|-----------|------------|------------|-------------|--------|-------|
| | | 開店日数 | 26 | 26 | 27 | 28 | 25 | 11 | 27 | 26 | 26 | 24 | 24 | 27 | 297 |
| 売上高(円) | 8,859,921 | 12,402,134 | 9,287,973 | 9,239,431 | 8,479,165 | 3,971,686 | 10,760,802 | 13,945,051 | 8,783,047 | 7,314,660 | 10,732,948 | 12,651,074 | 116,427,892 | 142.9% | |
| 飲食客数(人) | 4,822 | 7,126 | 4,899 | 5,002 | 5,082 | 1,928 | 5,306 | 5,664 | 2,564 | 2,748 | 3,863 | 3,436 | 52,440 | 115.7% | |
| 1日平均売上金額 | 340,766 | 477,005 | 343,999 | 329,980 | 339,167 | 361,062 | 398,548 | 536,348 | 337,810 | 304,778 | 447,206 | 468,558 | 392,013 | 132.8% | |
| 1人平均飲食金額 | 1,837 | 1,740 | 1,896 | 1,847 | 1,668 | 2,060 | 2,028 | 2,462 | 3,426 | 2,662 | 2,778 | 3,682 | 2,220 | 123.5% | |

※各展覧会ごとの特設売店の設置手数料及び購買客数も含む

4. 令和4年度 展覧会関連事業

| 事業名 | 区分 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|--------------|-------|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-------|
| 展覧会に伴う講演会 | 実施事業数 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 7 |
| | 延実施日数 | 1 | 0 | 1 | 4 | 0 | 0 | 0 | 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 11 |
| | 延実施回数 | 1 | 0 | 1 | 4 | 0 | 0 | 0 | 5 | 1 | 0 | 0 | 0 | 12 |
| | 延参加人数 | 39 | 0 | 214 | 302 | 0 | 73 | 0 | 55 | 64 | 0 | 0 | 0 | 747 |
| 展覧会ギャラリーツアー等 | 実施事業数 | 0 | 1 | 1 | 1 | 2 | 0 | 1 | 2 | 0 | 1 | 2 | 0 | 11 |
| | 延実施日数 | 0 | 1 | 1 | 1 | 3 | 0 | 1 | 5 | 0 | 1 | 2 | 0 | 15 |
| | 延実施回数 | 0 | 1 | 2 | 2 | 7 | 0 | 2 | 5 | 0 | 1 | 3 | 0 | 23 |
| | 延参加人数 | 0 | 28 | 34 | 35 | 225 | 0 | 24 | 59 | 0 | 28 | 31 | 0 | 464 |
| ワークショップ等 | 実施事業数 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 |
| | 延実施日数 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 |
| | 延実施回数 | 0 | 5 | 4 | 0 | 0 | 0 | 2 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 14 |
| | 延参加人数 | 0 | 30 | 44 | 0 | 0 | 0 | 24 | 44 | 0 | 0 | 0 | 0 | 142 |
| ミュージアム・コンサート | 実施事業数 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 |
| | 延実施日数 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 3 |
| | 延実施回数 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 5 |
| | 延参加人数 | 0 | 430 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 303 | 733 |
| その他イベント | 実施事業数 | 1 | 1 | 0 | 3 | 1 | 3 | 5 | 5 | 2 | 4 | 2 | 0 | 27 |
| | 延実施日数 | 10 | 1 | 0 | 10 | 2 | 11 | 5 | 8 | 2 | 4 | 3 | 0 | 56 |
| | 延実施回数 | 1 | 1 | 0 | 8 | 2 | 4 | 10 | 9 | 5 | 4 | 3 | 0 | 47 |
| | 延参加人数 | 76 | 18 | 0 | 122 | 27 | 126 | 135 | 450 | 93 | 173 | 83 | 0 | 1,303 |

※随時体験型イベントの実施回数は1回/月とみなす。

その他

1.組織図

令和5年3月31日現在

| | |
|---------|-------|
| 館長 | 妹島 和世 |
| 副館長(学芸) | 牟田 行秀 |

管理係

| | |
|---------|--------|
| 管理係長〔派〕 | 奈良部 浩武 |
| 主任 | 増渕 仁美 |
| 主事 | 高橋 さおり |
| 主事 | 清水 麻子 |
| 主事 | 丸山 文江 |

事業係

| | |
|------------|--------|
| 事業係長(学芸) | 森 千花 |
| 事業担当係長(学芸) | 板谷 敏弘 |
| サービス推進担当係長 | 藤野 英樹 |
| 主任(学芸) | 神保 京子 |
| 主任(学芸) | 大木 香奈 |
| 主任(学芸) | 吉田 奈緒子 |
| 主事(学芸) | 田村 麗恵 |
| 主事(学芸) | 大谷 郁 |
| 主事(学芸) | 鶴 三慧 |
| 主事(学芸) | 斉藤 音夢 |



2. 展覧会実績一覧

1983 昭和58年

グッゲンハイム美術館展 1983年10月1日～12月25日(81日)

1984 昭和59年

早春展 1984年2月23日～4月9日(45日)

陽春展 1984年4月14日～4月23日(10日)

コプト美術展 1984年4月28日～6月3日(35日)

'84 初夏—美とのであい 1984年6月16日～7月8日(22日)

ルオー展 1984年9月14日～11月4日(48日)

晩秋展 1984年11月17日～12月23日(35日)

1985 昭和60年

日本画による初春展 1985年1月12日～2月11日(30日)

アレックス・コルヴィル展 1985年2月20日～3月21日(28日)

フランス・コルベール展 1985年4月1日～5月12日(39日)

日本の美 1985年5月19日～6月23日(31日)

アジア近代絵画の夜明け展 1985年7月20日～9月1日(44日)

庭園美術館への誘い 1985年9月12日～24日(13日)

20世紀オーストラリア美術名作展 1985年10月4日～11月6日(32日)

NEW YORK・ニューヨーク 1985年11月17日～12月22日(34日)

1986 昭和61年

回想の江戸・東京展 1986年1月11日～2月23日(42日)

12人の現代彫刻家 1986年3月2日～4月16日(43日)

アントニー・クラーベ展 1986年4月27日～6月30日(61日)

黒田清輝展 1986年7月11日～8月10日(30日)

日本の子どもの本歴史展 1986年8月17日～9月23日(36日)

室町美術と戦国画壇 1986年10月5日～11月9日(34日)

庭園美術館へのいざない パートⅢ 1986年11月20日～12月21日(30日)

1987 昭和62年

日本のガラス造形—昭和 1987年1月10日～3月22日(67日)

アンデスの染織と工芸 1987年4月4日～5月12日(37日)

美しき日本 1987年5月23日～6月30日(36日)

小磯良平展 1987年7月11日～8月30日(48日)

ブルデル/デュフェ 1987年9月12日～11月23日(69日)

「新東京百景」展 1987年11月29日～12月22日(23日)

1988 昭和63年

回想の江戸・東京Ⅱ 1988年1月10日～2月14日(33日)

牧野虎雄・曾宮一念展 1988年2月25日～3月27日(30日)

ルネ・ラリック展 1988年4月5日～5月29日(51日)

パリ・街・人 アジェとカルティエ=ブレッソン 1988年6月4日～7月24日(48日)

西洋美術の名作展 1988年7月31日～9月4日(34日)



ヤン・トーロップ展 1988年9月20日～11月6日(45日)
レオナルド・フジタ展 1988年11月12日～1989年2月21日(90日)

1989 昭和64年 平成元年

東京都江戸東京博物館収蔵品展 1989年3月1日～3月28日(26日)
ヘルムート・ニュートン ポートレート 1989年4月5日～5月14日(37日)
フンデルトワッサー展 1989年5月21日～7月11日(49日)
藤島武二展 1989年7月19日～9月3日(47日)
江戸美術の祝祭 1989年9月14日～10月24日(39日)
国吉康雄展 1989年11月1日～12月24日(51日)

1990 平成2年

旧朝香宮邸のアール・デコ 1990年1月11日～2月4日(24日)
ドイツ・ロマン派の時代展 1990年2月18日～3月25日(34日)
浜口陽三展 1990年4月3日～6月3日(58日)
ルネ・ラリックの香水瓶展 1990年6月16日～8月5日(48日)
古代ギリシャ美術展 1990年8月18日～9月23日(35日)
エドワード・ホッパー展 1990年10月6日～12月16日(67日)

1991 平成3年

ルイス・C・ティファニー展 1991年1月12日～3月17日(61日)
旧朝香宮邸のアール・デコ 1991年3月24日～3月31日(7日)
子どもの本・1920年代展 1991年4月6日～5月26日(47日)
カッサンドル展 1991年6月2日～7月14日(40日)
小磯良平遺作展 1991年7月20日～8月27日(37日)
袱紗展 1991年9月14日～10月13日(28日)
世界の名作展 1991年11月2日～12月20日(46日)

1992 平成4年

ベルリン東洋美術館名品展 1992年1月12日～2月17日(35日)
旧朝香宮邸のアール・デコ 1992年2月29日～3月24日(24日)
バリー・モダン1910-30年代 1992年4月4日～5月24日(48日)
ロバート・メイプルソープ展 1992年6月2日～7月2日(29日)
日本洋画再考展 1992年7月10日～8月5日(26日)
洋画の動乱 昭和10年 1992年8月14日～10月6日(51日)
卓上の芸術 1992年10月17日～12月10日(51日)
旧朝香宮邸のアール・デコ 1992年12月18日～1993年1月21日(25日)

1993 平成5年

ドーム・ガラス展 1993年1月31日～3月15日(41日)
旧朝香宮邸のアール・デコ展 1993年4月3日～4月13日(11日)
長谷川潔展 1993年4月29日～7月7日(66日)
デ・キリコ展1920-1950 1993年7月16日～8月15日(29日)
大正日本画の若き俊英たち 1993年8月21日～9月23日(31日)
アール・デコ様式のセーブル磁器展 1993年10月2日～12月19日(74日)

1994 平成6年

旧朝香宮邸の建築と歴史 1994年1月15日～2月13日(38日)
全国美術館コレクション名品展 1994年3月3日～3月31日(27日)
旧朝香宮邸のアール・デコ展 1994年4月5日～4月17日(12日)



カール・ラーション展 1994年4月23日～5月31日(36日)
 ヨーロッパ工芸新世紀展 1994年6月11日～7月31日(48日)

1995 平成7年

旧朝香宮邸のアール・デコ 1995年3月10日～3月19日(10日)
 フランス宝飾芸術の世界展 1995年4月8日～5月28日(47日)
 レオナルド・ダ・ヴィンチ人体解剖図 1995年6月10日～7月30日(47日)
 アメリカに生きた日系人画家たち 1995年8月12日～10月1日(48日)
 スチュアート・デイヴィス展 1995年10月10日～11月26日(44日)
 エドゥアール・サンド彫刻展 1995年12月7日～1996年2月13日(57日)

1996 平成8年

旧朝香宮邸のアール・デコ 1996年2月24日～3月24日(28日)
 旧朝香宮邸のアール・デコ 1996年4月1日～5月26日(52日)
 林武展 1996年6月15日～7月28日(41日)
 日本工芸の青春期1920s-1945 1996年8月10日～9月17日(36日)
 北大路魯山人展 1996年10月5日～11月24日(48日)
 ジョージ・チネリーと知られざる19世紀広東・マカオ・香港の美術展 1996年12月7日～1997年2月11日(55日)

1997 平成9年

イタリア・バロック絵画展 1997年2月20日～3月30日(36日)
 アルザスとフランス近代美術の歩み 1997年4月5日～5月25日(48日)
 パリ国立オペラ座衣裳展 1997年6月14日～8月17日(61日)
 東南アジア—近代美術の誕生 1997年9月6日～10月12日(34日)
 フォンタネージと日本の近代美術 1997年10月23日～12月14日(50日)
 旧朝香宮邸のアール・デコ 1997年12月21日～1998年1月27日(28日)

1998 平成10年

工芸のジャポニスム展 1998年2月7日～3月24日(43日)
 華麗なる馬たち 1998年4月4日～5月26日(50日)
 イタリアのガラス1930-1970 1998年6月6日～7月26日(47日)
 ザッキン—彫刻と素描展 1998年8月8日～9月27日(47日)
 ジョルジョ・モランディ 花と風景 1998年10月10日～11月29日(47日)
 旧朝香宮邸のアール・デコ 1998年12月12日～1999年3月21日(86日)

1999 平成11年

名画の花束 1999年4月3日～5月30日(54日)
 リバティ・スタイル展 1999年6月12日～7月25日(42日)
 宮本三郎展 1999年8月7日～9月19日(41日)
 パリ・モード1870-1960 1999年10月2日～12月19日(74日)

2000 平成12年

アール・デコと東洋 2000年1月8日～3月21日(69日)
 デペロの未来派芸術展 2000年4月4日～5月23日(47日)
 指輪—ちいさな記念碑の物語 2000年6月7日～8月6日(57日)
 旧朝香宮邸のアール・デコ展 2000年8月19日～10月29日(67日)
 ルネ・ラリック1860-1945展 2000年11月11日～2001年1月31日(69日)



2001 平成13年

ロシア・アヴァンギャルド展 2001年2月10日～4月1日(47日)
 ジョルジュ・ルース展 2001年4月7日～6月3日(54日)
 ジノリ展 2001年6月16日～8月19日(61日)
 安田侃—彫刻展 2001年8月25日～9月16日(22日)
 安田侃—野外彫刻展 2001年4月12日～2002年3月17日併催
 カラヴァッジョ 2001年9月29日～12月16日(76日)

2002 平成14年

旧朝香宮邸のアール・デコ展 2002年1月5日～3月17日(67日)
 マジョリカ名陶展 2002年4月4日～6月23日(76日)
 ソニア・ドローネ 2002年7月6日～9月8日(61日)
 ピュイフォルカ展 2002年9月21日～12月1日(68日)

2003 平成15年

旧朝香宮邸のアール・デコ 2003年1月4日～4月6日(81日)
 ヨーロッパ・ジュエリーの400年 2003年4月24日～7月1日(65日)
 マリー・ローランサン回顧展 2003年7月19日～9月15日(55日)
 アール・デコ様式 2003年10月1日～2004年2月1日(105日)

2004 平成16年

パリ1900 2004年2月21日～4月11日(48日)
 シルクロードの装い 2004年4月24日～6月20日(54日)
 幻のロシア絵本1920-30年代展 2004年7月3日～9月5日(61日)
 エミール・ノルデ 2004年9月18日～11月7日(48日)
 田原桂—光の彫刻 2004年11月20日～2005年1月23日(54日)

2005 平成17年

日本のジュエリー100年 2005年2月5日～4月10日(61日)
 ジェームズ・アンソール展 2005年4月23日～6月12日(47日)
 八木一夫展 2005年7月2日～8月21日(48日)
 庭園植物記 2005年9月3日～11月6日(61日)
 華麗なるマイセン磁器 2005年11月19日～2006年1月22日(55日)

2006 平成18年

宇治山哲平展 2006年2月4日～4月9日(61日)
 北欧のスタイリッシュ・デザイン 2006年4月22日～6月18日(54日)
 旧朝香宮邸のアール・デコ展 2006年7月8日～10月1日(80日)
 アール・デコ・ジュエリー 2006年10月14日～2007年1月14日(80日)

2007 平成19年

アルフレッド・ウォリス 2007年2月3日～3月31日(53日)
 大正シック 2007年4月14日～7月1日(74日)
 舞台芸術の世界 2007年7月26日～9月17日(51日)
 世界を魅了した ティファニー 1837-2007 2007年10月6日～12月16日(67日)
 アール・デコの館 2007年12月23・24日/2008年1月12日～14日(5日)



2008 平成20年

建築の記憶 2008年1月26日～3月31日(63日)
 オールドノリタケと懐かしの洋食器 2008年4月17日～6月15日(56日)
 舟越桂 夏の邸宅 2008年7月19日～9月23日(64日)
 アール・デコの館 2008年10月1日～10月13日(13日)
 1930年代・東京 2008年10月25日～2009年1月12日(69日)

2009 平成21年

ポワレとフォルチュニイ 2009年1月31日～3月31日(58日)
 エカテリーナ2世の四大ディナーセット 2009年4月16日～7月5日(76日)
 ステッチ・バイ・ステッチ 2009年7月18日～9月27日(68日)
 パリに咲いた古伊万里の華 2009年10月10日～12月23日(70日)

2010 平成22年

マッキアイオーリ 2010年1月16日～3月14日(54日)
 アール・デコの館 2010年3月25日～4月11日(18日)
 ロトチェンコ+ステパーノワ 2010年4月24日～6月20日(54日)
 有元利夫展—天空の音楽 2010年7月3日～9月5日(61日)
 香水瓶の世界 2010年9月18日～11月28日(67日)
 朝香宮のグランドツアー 2010年12月11日～2011年1月16日(28日)

2011 平成23年

20世紀ポスター[タイポグラフィ] 2011年1月29日～3月27日(50日)
 森と芸術 2011年4月16日～7月3日(74日)
 皇帝の愛したガラス 2011年7月14日～9月25日(70日)
 アール・デコの館 2011年10月6日～10月31日(24日)

2014 平成26年

アーキテクツ/1933/Shirokane 2014年11月22日～12月25日(32日)
 内藤礼 信の感情 2014年11月22日～12月25日(32日)

2015 平成27年

幻想絶佳：アール・デコと古典主義 2015年1月17日～4月7日(76日)
 マスク展 2015年4月25日～6月30日(63日)
 アール・デコの邸宅美術館 2015年7月18日～9月23日(64日)
 オットー・クンツリ展 2015年10月10日～12月27日(73日)

2016 平成28年

ガレの庭 2016年1月16日～4月10日(81日)
 メディチ家の至宝 2016年4月22日～7月5日(70日)
 こどもとファッション 2016年7月16日～8月31日(44日)
 アール・デコの花弁 2016年9月22日～12月25日(89日)
 クリスチャン・ボルタンスキー 2016年9月22日～12月25日(89日)

2017 平成29年

並河靖之七宝展 2017年1月14日～4月9日(81日/平成28年度中は72日)
 装飾は流転する 2017年11月18日～2月25日(86日)



2018 平成30年

アール・デコリヴァイヴァル! 建物公開 旧朝香宮邸物語 2018年3月21日~6月12日(79日/平成29年度中は10日)
 フランス絵本の世界 2018年3月21日~6月12日(79日/平成29年度中は10日)
 ブラジル先住民の椅子 野生動物と想像力 2018年6月30日~9月17日(75日)
 エキゾテック × モダン アール・デコと異郷への眼差し 2018年10月6日~2019年1月14日(86日)

2019 平成31年

岡上淑子 フォトコラージュ 沈黙の奇蹟 2019年1月26日~4月7日(68日/平成30年度中は61日)
 キスリング展 エコール・ド・パリの夢 2019年4月20日~7月7日(74日)
 1933年の室内装飾 朝香宮邸をめぐる建築素材と人びと 2019年7月20日~9月23日(62日)
 アジアのイメージ—日本美術の「東洋憧憬」 2019年10月12日~2020年1月13日(80日)

2020 令和2年

北澤美術館所蔵 ルネ・ラリック アール・デコのガラス モダン・エレガンスの美
 2020年2月1日~2月28日(26日)
 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため2月29日~4月7日は休止
 建築をみる 2020 東京モダン生活(ライフ) 東京都コレクションにみる 1930年代
 2020年6月1日~9月27日(4月18日~6月23日より会期変更)(111日)
 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月18日~5月31日は休止
 生命の庭—8人の現代作家が見つけた小宇宙 2020年10月17日~2021年1月12日(75日)

2021 令和3年

20世紀のポスター[図像と文字の風景]—ビジュアルコミュニケーションは可能か?
 2021年1月30日~4月11日(67日)
 建物公開 2021 艶めくアール・デコの色彩
 2021年4月24日、6月1日~6月13日(13日)
 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月25日~5月31日は休止
 ルネ・ラリック リミックス—時代のインスピレーションをもとめて 2022年6月26日~9月5日(65日)
 キューガーデン 英国王室が愛した花々 シャーロット王妃とボタニカルアート
 2021年9月18日~11月28日(62日)

2022 令和4年

奇想のモード 装うことへの狂気、またはシュルレアリスム 2022年1月15日~4月10日(74日)
 建物公開 2022 アール・デコの貴重書 2022年4月23日~6月12日(44日)
 蜷川実花「瞬く光の庭」 2022年6月25日~9月4日(62日)
 旅と想像/創造 いつかあなたの旅になる 2022年9月23日~11月27日(57日)
 交歓するモダン 機能と装飾のポリフォニー 2022年12月17日~2023年3月5日(61日)

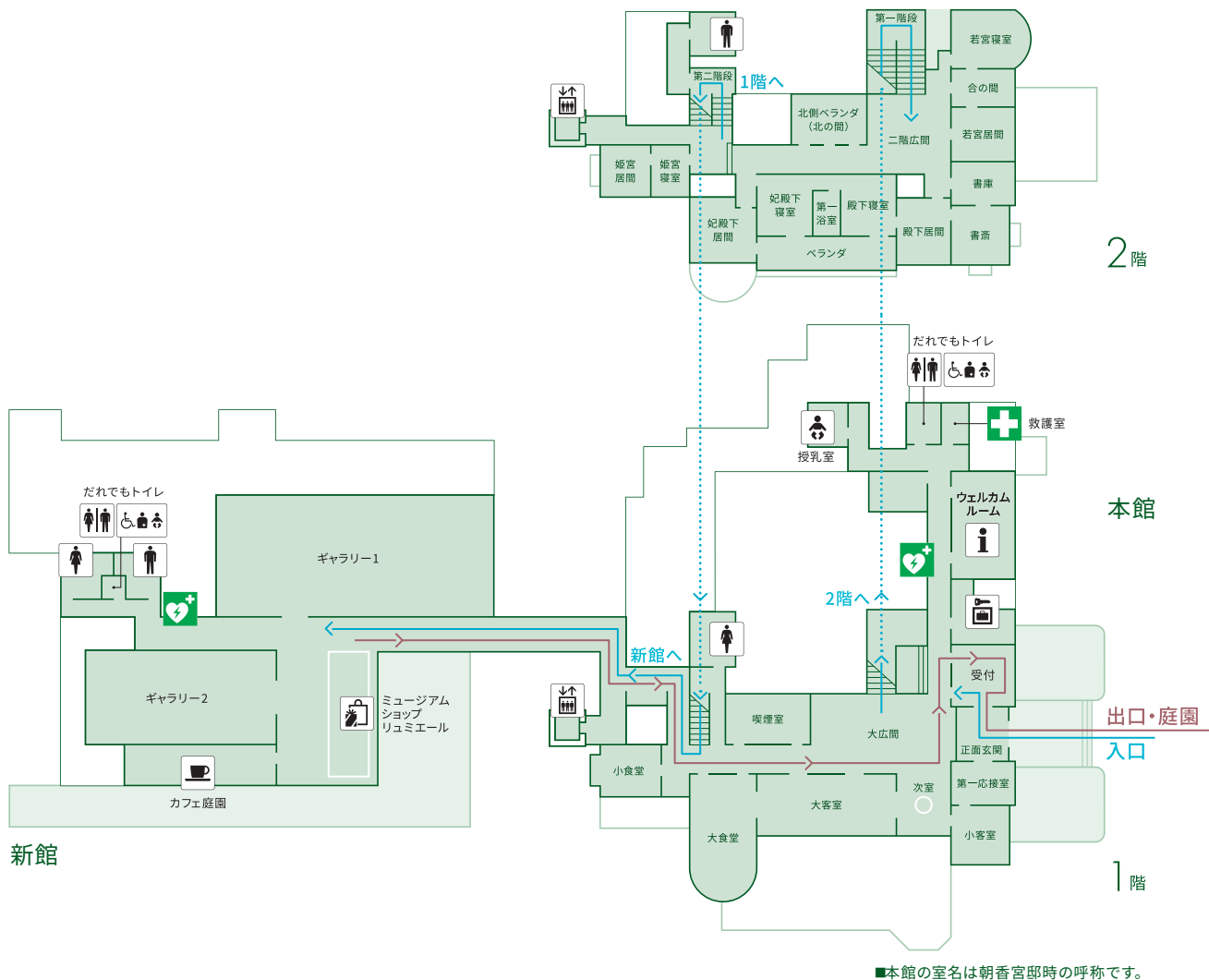


3.施設配置図





本館(旧朝香宮邸)・新館



茶室

